

### Ⅲ 県外観光客動態調査

#### 1 概要

##### ● はじめに

本調査は、観光施策の基礎資料とすることを目的に、高知県内の観光地 10 地点で四季別にアンケート調査を実施し、結果をとりまとめたものである。

調査精度の均一化を図るため、調査員による対面聞き取り方式のアンケート調査を実施。時間帯も 10 時から 17 時まで偏りがないように調整しながら調査している。あわせて 1 グループに 1 名(1 回答)を徹底した。

とりまとめにあたっては、県観光政策課から指示された項目について記載している。なお、暦年調査のため、四季別データは冬春夏秋の順で表示した。

##### ● 調査場所 (10 ヶ所)

室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、桂浜、高知城、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬

##### ● 調査時期

- ・ 冬季：平成 27 年 12 月 30 日～平成 28 年 1 月 10 日
- ・ 春季：平成 28 年 6 月 4 日～平成 28 年 7 月 17 日
- ・ 夏季：平成 28 年 7 月 31 日～平成 28 年 8 月 27 日
- ・ 秋季：平成 28 年 10 月 8 日～平成 28 年 11 月 20 日

1 日で十分なサンプル数を得ることができなかった冬季のモネの庭、春季の土佐和紙工芸村、龍河洞、秋季の桂浜、四万十川では 2 日間調査を行っており、秋季の土佐和紙工芸村は 3 日間調査を行っている。

● 平成 28 年度観光統計調査の特徴

**県内旅行日数は前年と比べ 0.1 ポイント減少の 2.1 日。**

日帰り客と宿泊客の割合（P17：表 3-1）は、「日帰り」が 3.2 ポイント増の 37.2%、「2泊3日」が 0.2 ポイント増の 15.1%、「1泊2日」が 2.6 ポイント減の 36.3%、「4泊5日」が 0.9 ポイント減の 2.3%、「3泊4日」が横ばいの 5.3%、「5泊6日以上」が横ばいの 3.7%となっている。県内旅行の平均日数（P25：図 5-1）は前年と比べ 0.1 日減少の 2.1 日となっている。

**関東からの入込割合が増加。**

発地ブロック別入込割合（P20：表 4-1）では、関東からの旅行者が増加しており、「四国」からの旅行者は、前年に比べて 0.9 ポイント、「中国」からの旅行者は 0.6 ポイント減少している。

また、発地別県内旅行日数割合（P26：表 5-1 参考③）を見ると、前年に比べ「日帰り」は東京都、神奈川県以外のブロックでの増加、「1泊2日」は四国や岡山県での減少が大きく影響している。

**平均消費額（客船除く）は 523 円の減少。**

県内平均消費額（客船除く）（P36：図 10-1）は、前年と比べ 523 円減少の 26,139 円となっている。その内訳（P36：図 10-1 参考①）を見ると、「交通費」が前年比で 606 円、「飲食費」が 127 円増加し、「宿泊費」が 935 円、「土産代」が 257 円、入場料を含む「その他」が 64 円減少となっている。

また、年代別消費額費目別割合（P41：表 10-4）を前年と比べると、平均消費額が 10 代と 50 代、60 代以上の年代で増加、その他の年代で減少となっている。

**旅行形態は「1人」の旅行が増加。**

年代別旅行形態割合（P31：表 8-1）が、前年と比較すると「1人」の旅行が全体で 3.9 ポイント増加し、「家族」の旅行が 6.0 ポイント減少となっている。年代別に見ると、「1人」の旅行が全ての年代で増加している。

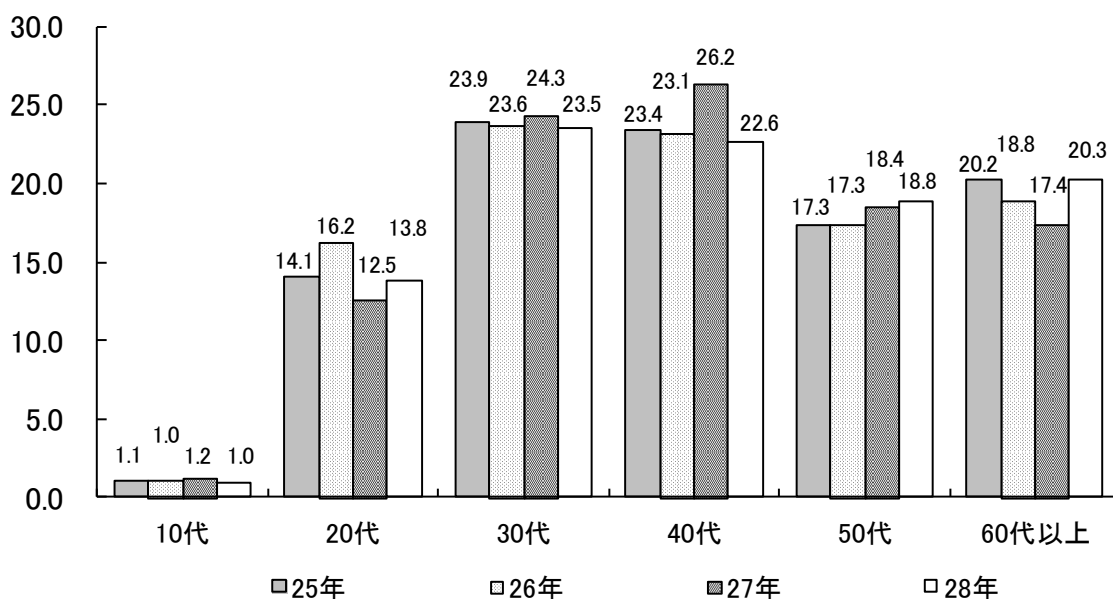
## 2 年代別入込割合

(表 2-1) 年代別旅行者割合(上段:件 下段:%)

年代	年	25年	26年	27年	28年	対前年比 28年/27年
		※(n=2873)	(n=2883)	(n=2940)	(n=2976)	
10代		31	29	35	31	84.0%
		1.1	1.0	1.2	1.0	
20代		404	466	367	412	110.6%
		14.1	16.2	12.5	13.8	
30代		688	680	715	698	96.6%
		23.9	23.6	24.3	23.5	
40代		672	666	771	674	86.2%
		23.4	23.1	26.2	22.6	
50代		497	500	541	558	102.2%
		17.3	17.3	18.4	18.8	
60代以上		581	542	511	603	116.8%
		20.2	18.8	17.4	20.3	

※nは、その年の総旅行者数

(図 2-2) 年代別旅行者割合(%) [ 28年、過去3年間 ]



(表 2-1 参考①) 年代別性別旅行者割合(上段:件 下段:%)

年 年代	平成26年 (n=2883)		平成27年 (n=2940)		平成28年 (n=2976)	
	男	女	男	女	男	女
10 代	11	18	17	18	20	11
	37.9	62.1	48.6	51.4	64.5	35.5
20 代	227	239	206	161	219	193
	48.7	51.3	56.1	43.9	53.2	46.8
30 代	377	303	407	308	395	303
	55.4	44.6	56.9	43.1	56.6	43.4
40 代	401	265	466	305	401	273
	60.2	39.8	60.4	39.6	59.5	40.5
50 代	318	182	339	202	354	204
	63.6	36.4	62.7	37.3	63.4	36.6
60代以上	342	200	329	182	399	204
	63.1	36.9	64.4	35.6	66.2	33.8
計	1676	1207	1764	1176	1788	1188
	58.1	41.9	60.0	40.0	60.1	39.9

年代別旅行者割合（P15：図 2-2）をみると、前年と比べ 20 代、50 代、60 代以上が増加し、10 代、30 代、40 代が減少している。

平成 28 年度の年代別割合をみると、30 代が 23.5%と最も多く、次いで 40 代が 22.6%、60 代以上が 20.3%となっている。

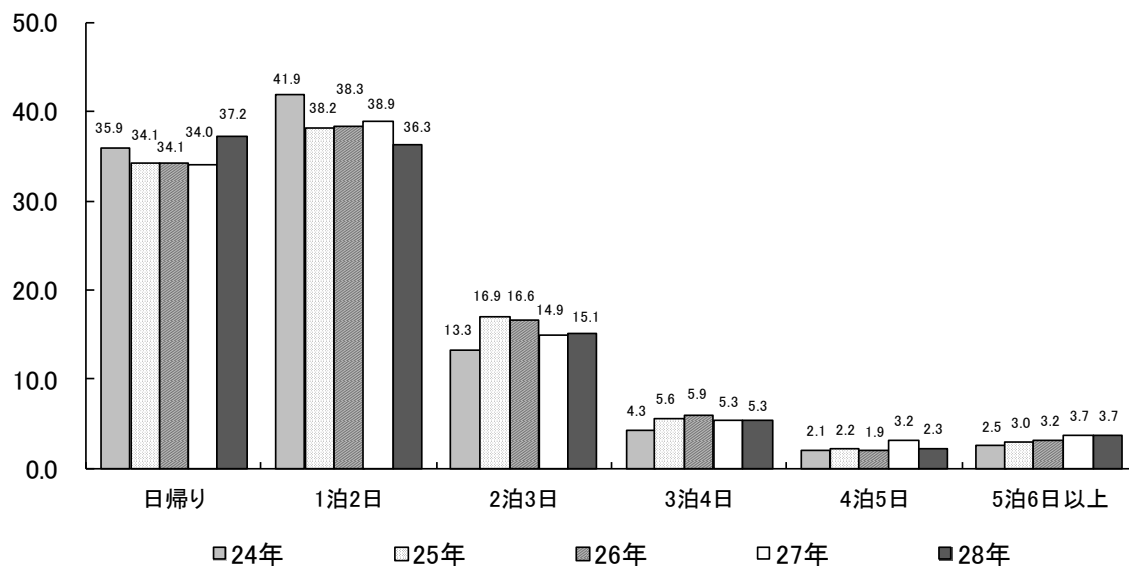
男女比（表 2-1 参考①）は、男性が 60.1%、女性が 39.9%となっており、男性の割合が前年調査から 0.1 ポイント増加している。全ての年代で男性の割合が、女性の割合を上回っている。

### 3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-1) 年次別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%)

年 \ 旅行日数	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
24年 (n=2869)	1029	1201	381	125	61	72
	35.9	41.9	13.3	4.3	2.1	2.5
25年 (n=2873)	981	1096	486	162	62	86
	34.1	38.2	16.9	5.6	2.2	3.0
26年 (n=2883)	984	1104	478	169	54	94
	34.1	38.3	16.6	5.9	1.9	3.2
27年 (n=2940)	1000	1143	438	157	95	107
	34.0	38.9	14.9	5.3	3.2	3.7
28年 (n=2976)	1106	1079	449	157	67	118
	37.2	36.3	15.1	5.3	2.3	3.7

(図 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合(%)



(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%)

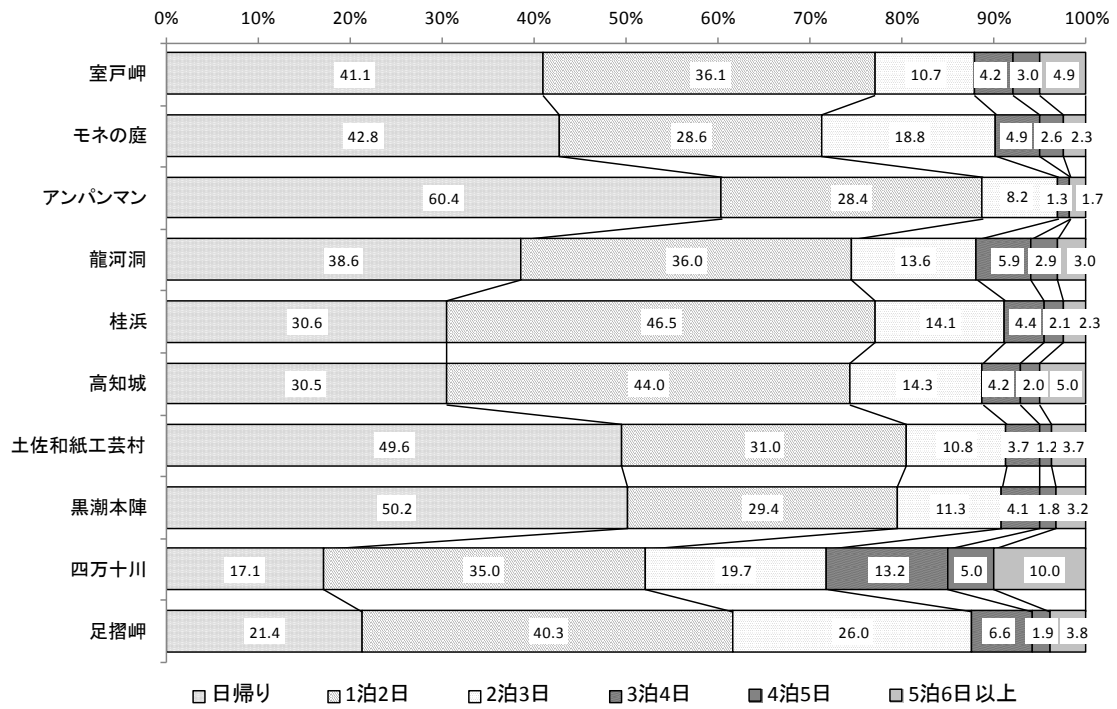
		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	27年	177	244	116	44	34	51
		26.6	36.6	17.4	6.6	5.1	7.7
	28年	237	254	120	48	23	53
		32.2	34.6	16.3	6.5	3.1	7.2
春	27年	309	284	82	39	26	13
		41.0	37.7	10.9	5.2	3.5	1.7
	28年	319	293	91	22	5	14
		42.9	39.4	12.2	2.9	0.7	1.9
夏	27年	232	293	137	55	30	37
		29.6	37.4	17.5	7.0	3.8	4.7
	28年	283	259	122	55	33	41
		35.7	32.6	15.4	6.9	4.2	5.2
秋	27年	282	322	103	19	5	6
		38.2	43.7	14.0	2.6	0.7	0.8
	28年	267	273	116	32	6	10
		37.9	38.8	16.5	4.5	0.9	1.4

日帰り客と宿泊客の割合（P17：図 3-2）を平成 24 年度の調査から通してみると、「日帰り」旅行の割合が 37.2%となっており、過去最大となっている。

前年と比べると、「日帰り」が 3.2 ポイント増の 37.2%、「2泊3日」が 0.2 ポイント増の 15.1%、「1泊2日」が 2.6 ポイント減の 36.3%、「4泊5日」が 0.9 ポイント減の 2.3%、「3泊4日」が横ばいの 5.3%、「5泊6日以上」が横ばいの 3.7%となっている。

四季別（表 3-3）データを前年と比べると、冬季は「日帰り」が 5.6 ポイント増加し、「1泊2日」と「4泊5日」が 2.0 ポイント減少となっている。春季は「日帰り」が 1.9 ポイント増加し、「4泊5日」が 2.8 ポイント減少している。夏季は「日帰り」が 6.1 ポイント増加し、「1泊2日」が 4.8 ポイント減少している。秋季は「2泊3日」が 2.5 ポイント増加し、「1泊2日」が 4.9 ポイント減少となっている。

(図 3-1 参考①) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [ 28 年 ]



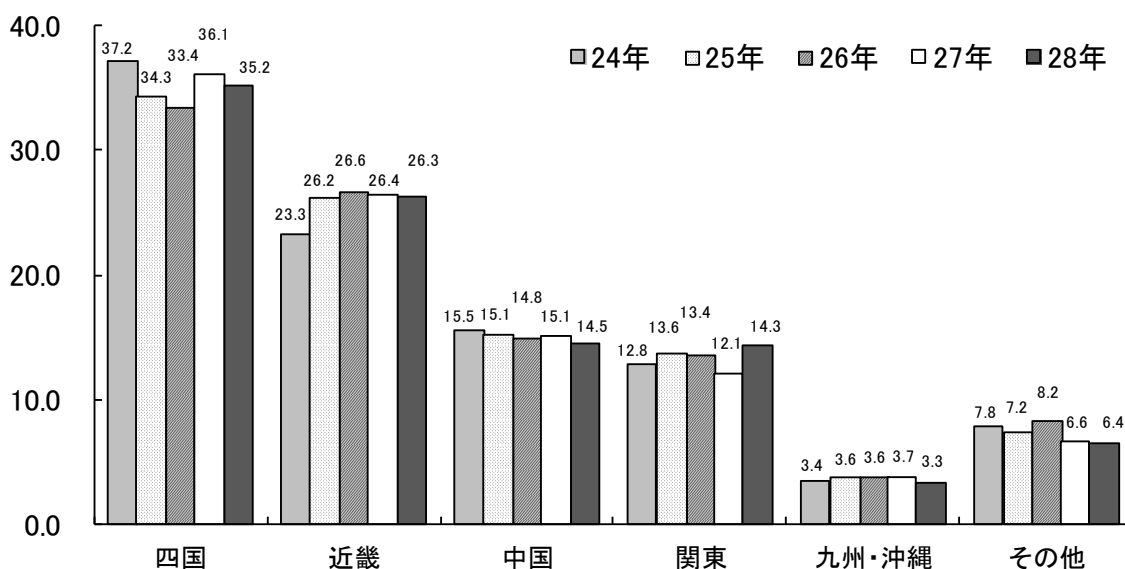
調査地別で日帰り客と宿泊客の割合（図 3-1 参考①）をみると、アンパンマンミュージアムでは「日帰り」の割合が 60.4%と半数を超えている。一方で「日帰り」は足摺岬で 21.4%、四万十川で 17.1%となっており、「2泊3日」以上の割合は四万十川で 47.9%、足摺岬で 38.3%となっている。

## 4 発地ブロック別入込割合

(表 4-1) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%)

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
24年	1066	669	446	368	97	223
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	7.8
25年	985	754	435	392	102	205
(n=2873)	34.3	26.2	15.1	13.6	3.6	7.2
26年	962	766	428	387	105	235
(n=2883)	33.4	26.6	14.8	13.4	3.6	8.2
27年	1060	777	444	357	108	194
(n=2940)	36.1	26.4	15.1	12.1	3.7	6.6
28年	1047	782	432	426	98	191
(n=2976)	35.2	26.3	14.5	14.3	3.3	6.4

(図 4-2) 発地ブロック別入込割合(%)

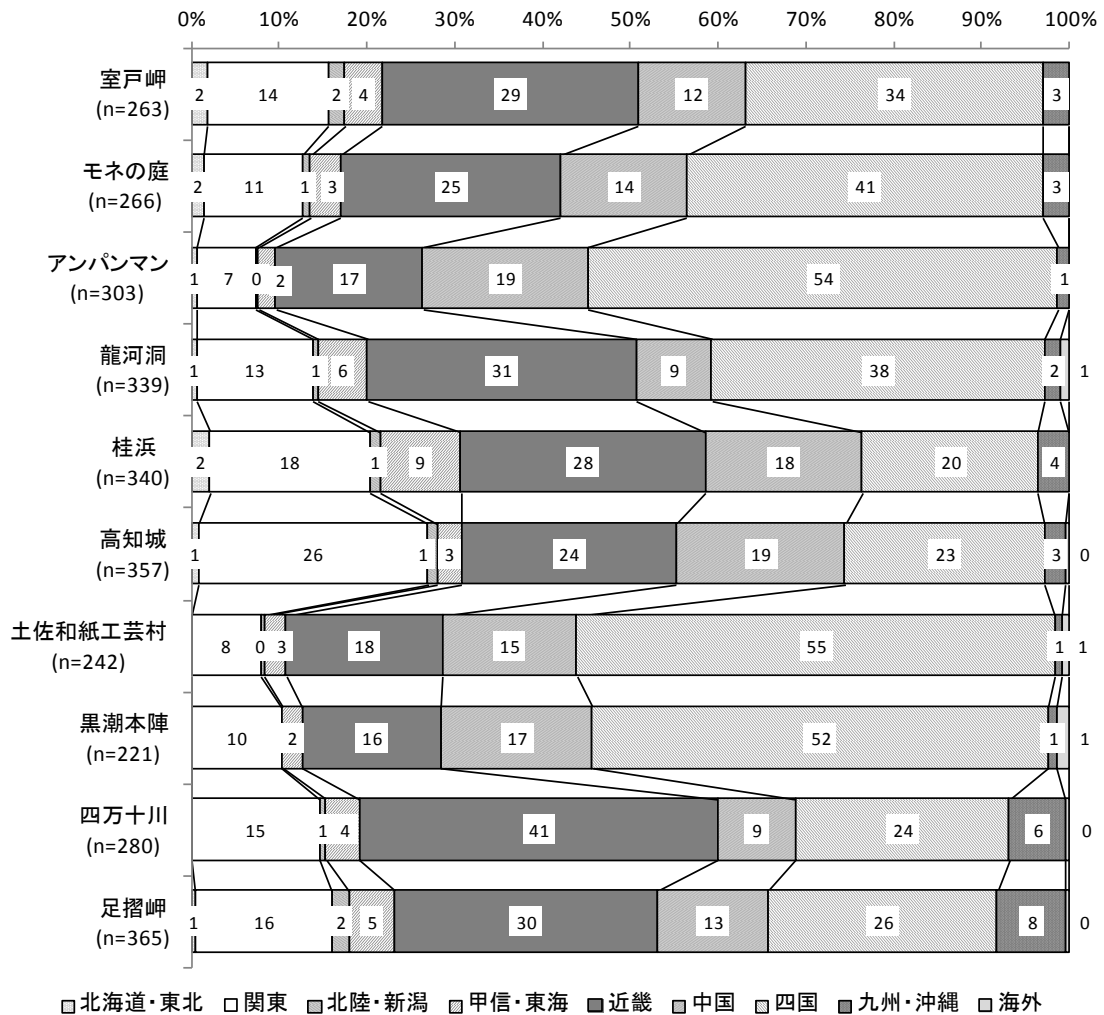




(表 4-1 参考①) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [全地区データ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	甲信・東海	北陸・新潟	東北	北海道	海外
24年	1066	669	446	368	97	154	32	20	17	0
(n=2869)	37.2	23.3	15.5	12.8	3.4	5.4	1.1	0.7	0.6	0.0
25年	985	754	435	392	102	134	32	22	16	1
(n=2873)	34.3	26.2	15.1	13.6	3.6	4.7	1.1	0.8	0.6	0.0
26年	962	766	428	387	105	168	20	22	19	6
(n=2883)	33.4	26.6	14.8	13.4	3.6	5.8	0.7	0.8	0.7	0.2
27年	1060	777	444	357	108	130	32	15	11	6
(n=2940)	36.1	26.4	15.1	12.1	3.7	4.4	1.1	0.5	0.4	0.2
28年	1047	782	432	426	98	127	28	15	10	11
(n=2976)	35.2	26.3	14.5	14.3	3.3	4.3	0.9	0.5	0.3	0.4

(表 4-1 参考②) 調査地別発地ブロック別入込割合(%) [28年]



(表 4-1 参考③) 調査地別発地都道府県入込数 (件) [ 28 年 ]

発地	調査地	調査地										全体	順位
		室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬		
県外合計		263	266	303	339	340	357	242	221	280	365	2976	-
北海道・東北	北海道	2	1	1	1	4	1	0	0	0	0	10	
	青森県	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	
	岩手県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	宮城県	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	秋田県	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4	
	山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	福島県	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	
北海道・東北計		5	4	2	2	7	3	0	0	0	2	25	-
関東	茨城県	0	1	0	1	9	1	0	1	0	3	16	
	栃木県	0	0	1	2	3	1	0	0	3	1	11	
	群馬県	2	0	1	0	1	1	0	0	1	2	8	
	埼玉県	7	5	1	6	6	12	0	2	3	4	46	
	千葉県	1	2	3	8	7	5	3	3	8	7	47	
	東京都	18	14	9	16	24	58	11	14	23	23	210	6
	神奈川県	8	8	5	12	12	15	5	3	3	17	88	9
関東計		36	30	20	45	62	93	19	23	41	57	426	-
北陸・新潟	新潟県	2	1	0	0	2	1	1	0	1	2	10	
	富山県	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3	
	石川県	1	0	0	1	2	2	0	0	1	3	10	
	福井県	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1	5	
北陸・新潟計		5	2	1	2	4	4	1	0	2	7	28	-
甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
	長野県	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	4	
	岐阜県	1	1	2	2	0	0	1	0	1	2	10	
	静岡県	2	1	0	3	8	2	2	0	2	6	26	
	愛知県	8	6	4	14	22	8	3	5	6	9	85	10
甲信・東海計		11	9	6	19	31	10	6	5	11	19	127	-
近畿	三重県	3	3	0	2	3	1	3	0	3	6	24	
	滋賀県	2	0	0	4	2	1	1	1	5	5	21	
	京都府	4	3	4	7	11	6	3	2	5	14	59	11
	大阪府	46	30	24	49	55	43	19	15	61	44	386	2
	兵庫県	17	26	20	28	21	34	13	16	31	32	238	4
	奈良県	2	3	1	9	1	2	3	0	7	4	32	
	和歌山県	3	2	2	5	2	0	1	1	2	4	22	
近畿計		77	67	51	104	95	87	43	35	114	109	782	-
中国	鳥取県	0	2	0	1	4	7	3	0	0	2	19	
	島根県	2	2	2	0	3	0	1	2	0	0	12	
	岡山県	13	15	35	15	26	33	14	26	15	22	214	5
	広島県	9	16	17	12	22	24	18	10	10	16	154	8
	山口県	8	3	3	1	6	5	1	0	0	6	33	
中国計		32	38	57	29	61	69	37	38	25	46	432	-
四国	徳島県	44	27	27	25	13	18	9	16	7	19	205	7
	香川県	24	34	56	46	30	30	29	44	16	34	343	3
	愛媛県	21	47	79	58	25	33	94	55	45	42	499	1
四国計		89	108	162	129	68	81	132	115	68	95	1047	-
九州・沖縄	福岡県	3	7	0	5	7	5	0	2	9	16	54	
	佐賀県	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	6	
	長崎県	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	7	
	熊本県	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	
	大分県	0	0	3	1	2	1	0	0	1	5	13	
	宮崎県	0	0	0	0	2	3	0	0	1	3	9	
	鹿児島県	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	
	沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
九州・沖縄計		8	8	4	6	12	9	2	2	18	29	98	-
海外		0	0	0	3	0	1	2	3	1	1	11	-
高知県		137	134	97	61	60	43	158	179	120	35	1024	-

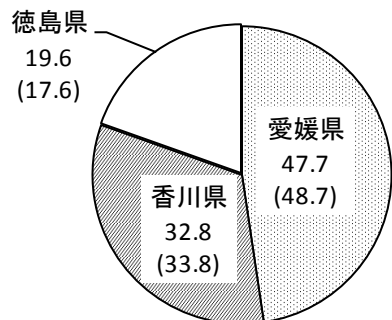
発地ブロック別入込割合をみると、平成 26 年度の調査から減少傾向にあった関東からの旅行者の割合が増加している（P21：表 4-1 参考①）。

前年と比べると、関東が 2.2 ポイント増加し、四国が 0.9 ポイント、中国が 0.6 ポイント、九州・沖縄が 0.4 ポイント、その他が 0.2 ポイント、近畿が 0.1 ポイント減少となっている（P20：表 4-1）。

調査地別での入込割合を発地ブロック別でみると（P21：表 4-1 参考②）、四国からの入込は土佐和紙工芸村が 55%、アンパンマンミュージアムが 54%、黒潮本陣が 52%となっている。四国・中国・近畿の近隣 3 ブロック合計で占める割合をみると、アンパンマンミュージアムが 90%、土佐和紙工芸村が 88%、黒潮本陣が 85%と多くなっている。人口の多い関東・近畿ブロック合計では、四万十川が 56%と最も多く、次いで高知城が 50%、桂浜と足摺岬が 46%となっている。

なお、調査地別の入込割合（P22：表 4-1 参考③）では、四国が 6 地点、近畿が 3 地点、関東が 1 地点で 1 位となっている。同 2 位は、近畿が 5 地点、四国が 3 地点、中国が 2 地点となっている。

(図 4-3) ブロック別・四国(%)

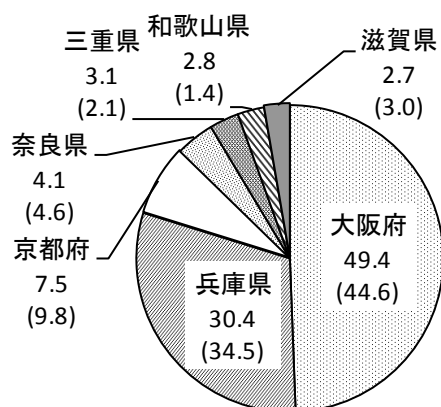


( )内の数値は 27 年

前年と比べ、徳島県が 2.0 ポイント増加、愛媛県と香川県が 1.0 ポイント減少となっている。

愛媛県は全体の入込割合で 1 位、また土佐和紙工芸村など 5 つの調査地において入込件数の 1 位となっている。香川県は全体の三位、黒潮本陣など 5 つの調査地点で 2 位となっている。徳島県は全体の 7 位、室戸岬で 2 位となっている (P22:表 4-1 参考③)。

(図 4-4) ブロック別・近畿(%)

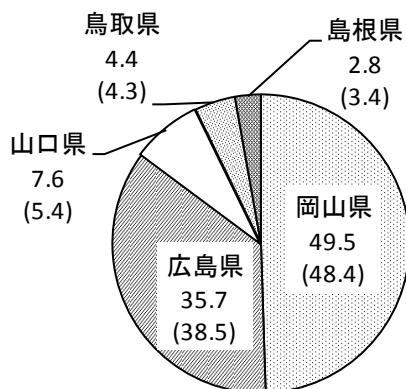


( )内の数値は 27 年

前年と比べ、大阪府が 4.8 ポイント、和歌山県が 1.4 ポイント、三重県が 1.0 ポイント増加、兵庫県が 4.1 ポイント、京都府が 2.3 ポイント、奈良県が 0.5 ポイント、滋賀県が 0.3 ポイント減少となっている。大阪府と兵庫県の 2 府県で 79.8%と、近畿ブロックの大半を占めている。

大阪府は全体の入込件数で 2 位、4 つの調査地で 1 位、2 つの調査地で 2 位となっている。兵庫県は全体の 4 位、調査地別では高知城、足摺岬、四万十川などで多くなっている (P22:表 4-1 参考③)。

(図 4-5) ブロック別・中国(%)



( )内の数値は 27 年

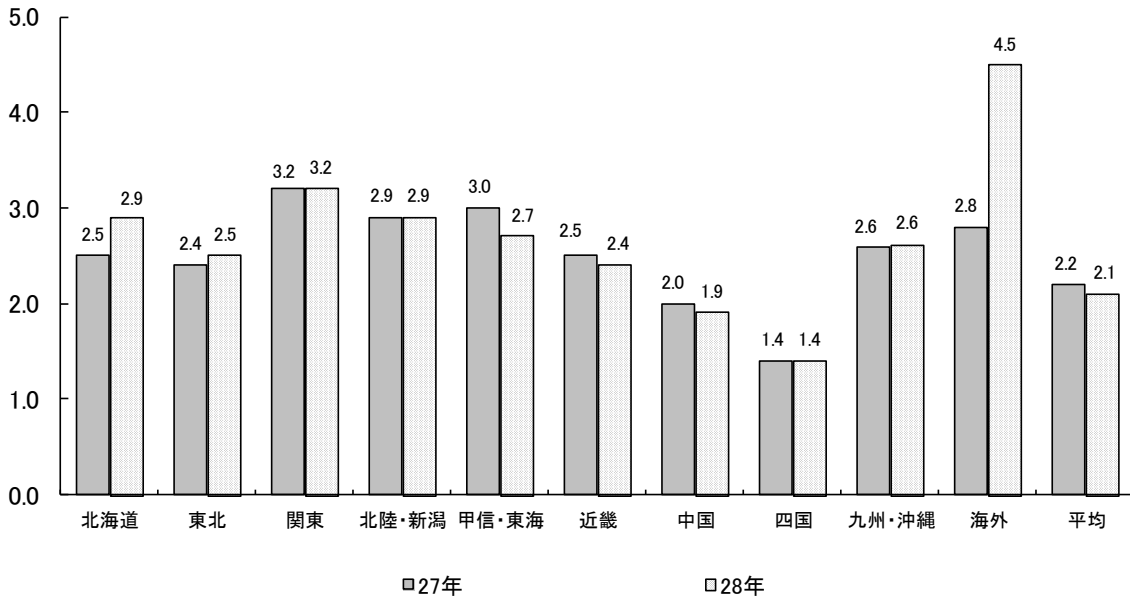
前年と比べ、山口県が 2.2 ポイント、岡山県が 1.1 ポイント、鳥取県が 0.1 ポイント増加、広島県が 2.8 ポイント、鳥根県が 0.6 ポイント減少となっている。岡山県と広島県の 2 県で 85.2%と、中国ブロックの大半を占めている。

岡山県は全体の入込件数で 5 位、アンパンマンミュージアム、高知城などで多くなっている。広島県は全体の 8 位、高知城、桂浜などで多くなっている (P22:表 4-1 参考③)。

## 5 旅行日数

### 5.1 発地ブロック別県内旅行日数

(図 5-1) 発地ブロック別県内旅行日数(日) [ 28 年、27 年 ]



県内旅行日数の平均は、前年と比べ0.1日減少の2.1日となっている。発地ブロック別にみると、北海道、東北で増加、甲信・東海、近畿、中国で減少、関東、北陸・新潟、四国、九州・沖縄で横ばいとなっている（海外の項目は少数のため、分析項目としては不適当と判断し除外して比較している）。

入込上位11位までの都道府県別に県内旅行日数の割合をみると（表5-1参考①）、東京は「2泊3日」が多く、神奈川県、愛知県、近畿（京都府・大阪府・兵庫県）、広島県は「1泊2日」が多く、岡山県は「日帰り」と「1泊2日」、四国は「日帰り」が大半を占めている。

都道府県別の旅行日数割合を前年と比べてみると（P26：表5-1参考③）、「日帰り」は関東以外のブロックでの増加、「1泊2日」は四国や岡山県での減少が大きく影響している。

(表 5-1 参考①) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 28 年 上位 11 位まで ]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	6.2	5.7	18.8	11.9	16.6	18.1	48.6	22.7	69.2	67.6	75.8
1泊2日	28.6	34.0	37.6	55.9	44.5	55.5	40.7	57.1	23.9	25.6	18.8
2泊3日	32.4	20.5	28.2	20.3	22.3	19.3	7.9	14.2	4.9	5.0	3.4
3泊4日	13.3	20.5	7.1	5.1	9.6	2.9	0.5	2.0	0.5	0.9	1.2
4泊5日	5.7	5.7	5.9	5.1	3.6	1.3	0.9	2.0	0.5	0.3	0.0
5泊6日以上	13.8	13.6	2.4	1.7	3.4	2.9	1.4	2.0	1.0	0.6	0.8

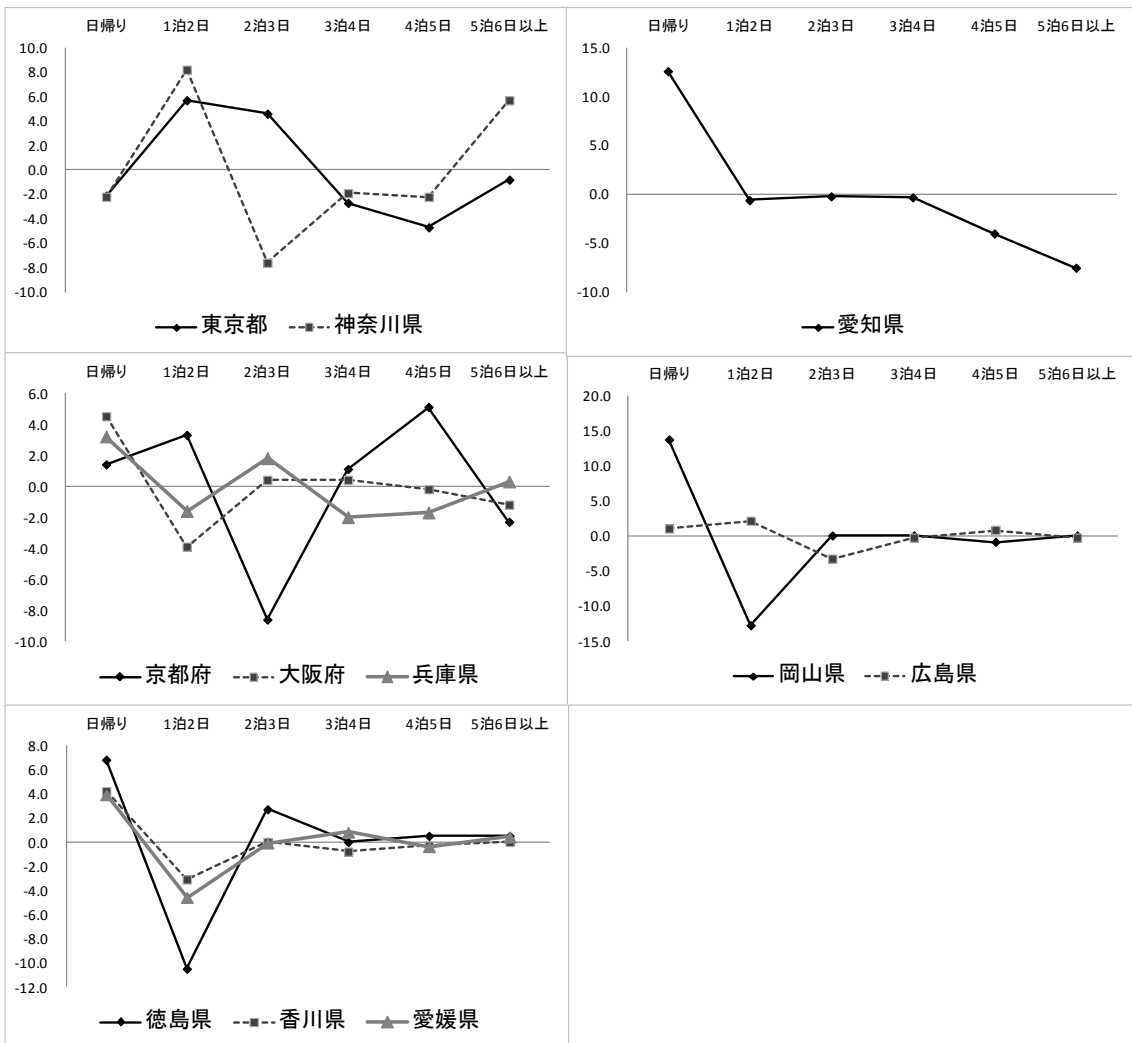
(表 5-1 参考②) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 27 年 上位 11 位まで ]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	8.3	7.9	6.2	10.5	12.1	14.9	34.9	21.7	62.4	63.4	71.9
1泊2日	22.9	25.8	38.2	52.6	48.4	57.1	53.5	55.0	34.4	28.7	23.4
2泊3日	27.8	28.1	28.4	28.9	21.9	17.5	7.9	17.5	2.2	5.0	3.5
3泊4日	16.0	22.4	7.4	4.0	9.2	4.9	0.5	2.3	0.5	1.7	0.4
4泊5日	10.4	7.9	9.9	0.0	3.8	3.0	1.8	1.2	0.0	0.6	0.4
5泊6日以上	14.6	7.9	9.9	4.0	4.6	2.6	1.4	2.3	0.5	0.6	0.4

(表 5-1 参考③) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 28 年と 27 年の差 ]

	東京都	神奈川県	愛知県	京都府	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	徳島県	香川県	愛媛県
日帰り	-2.1	-2.2	12.6	1.4	4.5	3.2	13.7	1.0	6.8	4.2	3.9
1泊2日	5.7	8.2	-0.6	3.3	-3.9	-1.6	-12.8	2.1	-10.5	-3.1	-4.6
2泊3日	4.6	-7.6	-0.2	-8.6	0.4	1.8	0.0	-3.3	2.7	0.0	-0.1
3泊4日	-2.7	-1.9	-0.3	1.1	0.4	-2.0	0.0	-0.3	0.0	-0.8	0.8
4泊5日	-4.7	-2.2	-4.0	5.1	-0.2	-1.7	-0.9	0.8	0.5	-0.3	-0.4
5泊6日以上	-0.8	5.7	-7.5	-2.3	-1.2	0.3	0.0	-0.3	0.5	0.0	0.4

(図 5-1 参考④) 発地別県内旅行日数割合(%) [ 28 年と 27 年の差 ]



## 5.2 年代別旅行日数

(表 5-2) 年代別県内旅行日数〔<sup>※</sup>加重平均〕(日)

年代 \ 年	24年	25年	26年	27年	28年
10 代	2.7	2.0	2.9	2.7	2.2
20 代	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1
30 代	2.0	2.2	2.1	2.2	2.1
40 代	2.1	2.2	2.2	2.3	2.2
50 代	1.9	2.0	2.1	2.0	2.1
60代以上	2.0	2.1	2.0	2.2	2.1
全 体	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1

年代別の県内旅行日数は、前年と比べ、50代で0.1日増加しており、10代で0.5日、30代と40代と60代以上で0.1日減少、20代は横ばいとなっている。

※加重平均：平均値を算出する際に、量の大小を反映させる方法

## 6 旅行形態別旅行目的割合

(表 6-1) 旅行形態別旅行目的割合(%)

		自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏 霊場巡り	その他
1人	26年 (n=283)	19.1	17.7	3.2	5.6	9.5	44.9
	27年 (n=265)	17.8	14.4	1.9	7.9	8.3	49.7
	28年 (n=383)	21.4	11.5	2.1	6.3	6.5	52.2
家族	26年 (n=2010)	17.2	35.4	3.5	16.4	3.4	24.1
	27年 (n=2187)	20.2	29.4	4.9	17.5	2.6	25.4
	28年 (n=2037)	19.8	28.2	4.6	15.5	3.4	28.5
友人 知人	26年 (n=534)	19.6	23.7	4.9	24.1	2.6	25.1
	27年 (n=433)	20.5	22.9	6.2	25.9	1.6	22.9
	28年 (n=460)	23.9	17.4	2.2	28.2	1.5	26.8
団体	26年 (n=39)	17.9	33.3	7.7	30.7	0.0	10.4
	27年 (n=28)	14.3	28.6	3.6	17.8	0.0	35.7
	28年 (n=48)	18.7	20.8	20.8	14.6	0.0	25.1
その他	26年 (n=17)	5.9	11.7	5.9	23.5	5.9	47.1
	27年 (n=27)	0.0	18.5	11.1	22.3	0.0	48.1
	28年 (n=48)	16.7	4.2	4.2	25.0	2.1	47.8
全体	26年 (n=2883)	17.7	31.3	3.8	17.0	3.9	26.3
	27年 (n=2940)	19.8	27.0	4.9	17.9	3.0	27.4
	28年 (n=2976)	20.5	23.9	4.2	16.4	3.5	31.5

旅行目的の全体割合をみると、「名所旧跡」が前年から 3.1 ポイント減少の 23.9%と最も多く、次いで「自然見物」が 0.7 ポイント増加の 20.5%、「食べ物」が 1.5 ポイント減少の 16.4%となっており、その他の項目では、「帰省・仕事」が 1.4 ポイント増加の 14.8%、「なんとなく（ドライブを含む）」が 0.3 ポイント増加の 5.8%となっている（P29：表 6-1 参考①）。

旅行形態別に旅行目的を前年と比べると、“一人旅”では、「自然見物」が 3.6 ポイント増加、「名所旧跡」が 2.9 ポイント減少となっている。“家族旅行”では、「帰省・仕事」が 1.7 ポイント増加、「食べ物」が 2.0 ポイント減少となり、“友人・知人との旅行”では、「名所旧跡」が 5.5 ポイント減少、“団体”では、「休養・慰安」が 17.2 ポイント増加となっている。



(表 6-1 参考①) 旅行形態別旅行目的割合(%) [全項目]

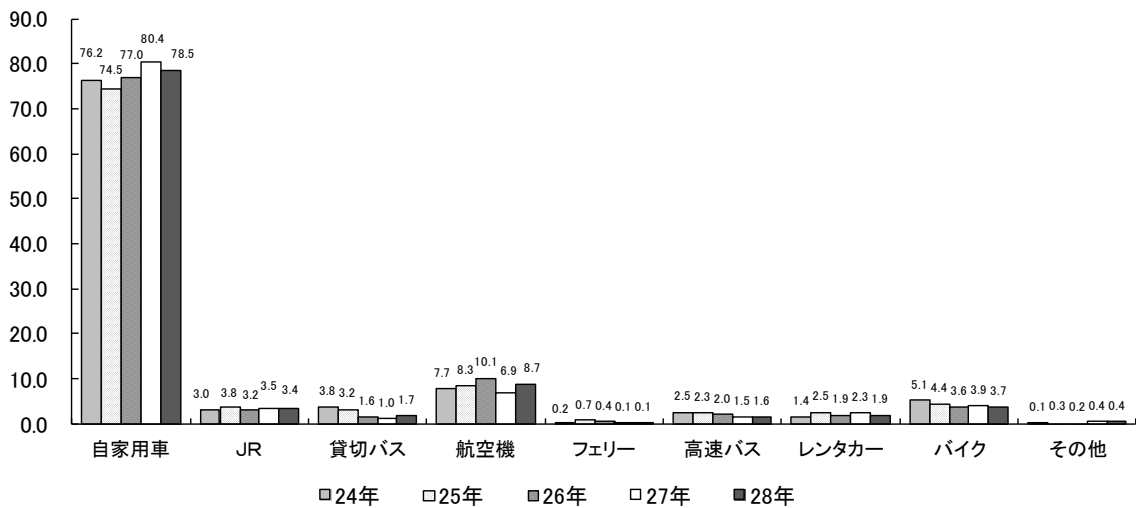
		自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	帰省・仕事	その他
1人	26年	19.1	3.2	1.1	5.3	0.7	5.6	9.5	1.8	17.7	11.3	22.2	2.5
	27年	17.8	1.9	1.1	3.4	1.1	7.9	8.3	1.1	14.4	18.1	21.9	3.0
	28年	21.4	2.1	3.6	2.9	1.6	6.3	6.5	0.8	11.5	17.7	22.7	2.9
家族	26年	17.2	3.5	1.1	2.7	0.2	16.4	3.4	2.4	35.4	3.5	13.4	0.8
	27年	20.2	4.9	1.0	3.3	0.1	17.5	2.6	2.0	29.4	3.7	14.1	1.2
	28年	19.8	4.6	2.6	3.2	0.6	15.5	3.4	2.1	28.2	3.0	15.8	1.2
友人 知人	26年	19.6	4.9	1.3	5.1	1.1	24.1	2.6	1.1	23.7	11.2	4.7	0.6
	27年	20.5	6.2	1.2	6.0	0.9	25.9	1.6	1.2	22.9	7.8	5.1	0.7
	28年	23.9	2.2	4.6	6.1	0.9	28.2	1.5	0.9	17.4	8.2	5.0	1.1
団体	26年	17.9	7.7	2.6	2.6	0.0	30.7	0.0	0.0	33.3	2.6	2.6	0.0
	27年	14.3	3.6	3.6	0.0	10.7	17.8	0.0	0.0	28.6	0.0	10.7	10.7
	28年	18.7	20.8	2.1	4.2	4.2	14.6	0.0	0.0	20.8	2.1	10.4	2.1
その他	26年	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5	5.9	0.0	11.7	5.9	35.3	5.9
	27年	0.0	11.1	0.0	7.4	11.1	22.3	0.0	3.7	18.5	0.0	7.4	18.5
	28年	16.7	4.2	6.2	2.1	6.2	25.0	2.1	2.1	4.2	6.2	10.4	14.6
全体	26年	17.7	3.8	1.1	3.4	0.4	17.0	3.9	2.1	31.3	5.7	12.7	0.9
	27年	19.8	4.9	1.0	3.7	0.5	17.9	3.0	1.8	27.0	5.5	13.4	1.5
	28年	20.5	4.2	3.1	3.6	0.9	16.4	3.5	1.7	23.9	5.8	14.8	1.6

## 7 入込利用交通機関割合

(表 7-1) 入込利用交通機関別割合(上段:件 下段:%)

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他
24年 (n=2869)	2186	86	108	222	5	70	41	147	4
	76.2	3.0	3.8	7.7	0.2	2.5	1.4	5.1	0.1
25年 (n=2873)	2140	110	91	239	19	66	73	127	8
	74.5	3.8	3.2	8.3	0.7	2.3	2.5	4.4	0.3
26年 (n=2883)	2220	94	46	291	12	57	54	103	6
	77.0	3.2	1.6	10.1	0.4	2.0	1.9	3.6	0.2
27年 (n=2940)	2364	104	28	201	3	45	67	115	13
	80.4	3.5	1.0	6.9	0.1	1.5	2.3	3.9	0.4
28年 (n=2976)	2337	99	49	260	3	48	57	110	13
	78.5	3.4	1.7	8.7	0.1	1.6	1.9	3.7	0.4

(図 7-2) 入込利用交通機関別割合(%) [24~28年]



入込利用交通機関は、「自家用車」が前年から1.9ポイント減少の78.5%となり大半を占めている。次いで、「航空機」が1.8ポイント増加の8.7%、「バイク」が0.2ポイント減少の3.7%、「JR」が0.1ポイント減少の3.4%、「レンタカー」が0.4ポイント減少の1.9%、「貸切バス」が0.7ポイント増加の1.7%となっている。

## 8 旅行形態割合

(表 8-1) 年代別旅行形態割合(%) [ 28 年、27 年 ]

		1人	家族	友人知人	団体	その他
10 代	27年 (n=35)	5.7	82.9	11.4	0.0	0.0
	28年 (n=31)	12.9	64.5	12.9	3.2	6.5
20 代	27年 (n=367)	12.3	39.5	46.1	1.6	0.5
	28年 (n=412)	14.1	38.1	45.1	1.5	1.2
30 代	27年 (n=715)	8.1	75.4	15.1	0.8	0.6
	28年 (n=698)	10.6	69.9	16.7	1.4	1.4
40 代	27年 (n=771)	8.0	82.5	8.6	0.3	0.6
	28年 (n=674)	13.5	77.0	6.4	1.5	1.6
50 代	27年 (n=541)	10.4	79.4	7.4	1.3	1.5
	28年 (n=558)	14.2	72.5	9.5	2.7	1.1
60代以上	27年 (n=511)	8.2	79.8	9.0	1.4	1.6
	28年 (n=603)	12.8	74.3	9.6	1.0	2.3
全 体	27年 (n=2940)	9.0	74.4	14.7	1.0	0.9
	28年 (n=2976)	12.9	68.4	15.5	1.6	1.6

(表 8-2) 年代別同行者数割合(%) [ 28 年、27 年 ]

		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10 代	27年 (n=35)	5.7	54.3	37.1	2.9	0.0
	28年 (n=31)	12.9	54.8	22.6	9.7	0.0
20 代	27年 (n=367)	12.3	68.6	14.2	4.1	0.8
	28年 (n=412)	14.1	62.9	18.4	3.9	0.7
30 代	27年 (n=715)	8.1	56.5	29.6	5.5	0.3
	28年 (n=698)	10.6	56.2	26.5	5.6	1.1
40 代	27年 (n=771)	8.0	53.7	32.0	5.6	0.7
	28年 (n=674)	13.5	53.3	27.1	4.3	1.8
50 代	27年 (n=541)	10.4	66.7	19.0	2.4	1.5
	28年 (n=558)	14.2	65.8	14.3	3.9	1.8
60代以上	27年 (n=511)	8.2	63.6	16.8	10.2	1.2
	28年 (n=603)	12.8	64.3	13.7	7.5	1.7
全 体	27年 (n=2940)	9.0	60.4	24.3	5.5	0.8
	28年 (n=2976)	12.9	59.9	20.6	5.2	1.4

(表 8-1、8-2 参考①) 年代別旅行形態・同行者数(件) [ 28 年 ]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	4	11	7	2		4						1		2			
20代	58	98	48	11		155	27	4		1	1	1	3	5			
30代	74	285	169	32	2	102	13	1		1	1	4	4	4	2	2	2
40代	91	319	176	22	2	35	5	2	1	2		2	6	3	2	3	3
50代	79	329	65	10	1	33	12	6	2	1	3	5	6	4		1	1
60代以上	77	359	62	27		29	15	14					6		6	4	4

(表 8-1、8-2 参考②) 年代別旅行形態・同行者数割合(%) [ 28 年と 27 年の差 ]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	7.2	-7.4	-14.6	3.6		1.5						3.2		6.5			
20代	1.8	-2.1	0.2	0.8	-0.3	-4.3	4.1	-0.7		-0.0	-0.0	-0.3	0.2	0.7			
30代	2.5	-2.5	-3.2	-0.0	0.3	1.7	0.0	-0.3		0.0	-0.1	0.3	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1
40代	5.5	0.9	-5.0	-1.4	0.0	-1.8	-0.2	-0.4	0.1	0.2		0.2	0.9	0.3	0.3	0.3	0.1
50代	3.8	-3.0	-4.1	0.1	-0.0	1.3	-0.1	0.7	0.2	-0.0	0.4	0.7	0.3	0.7	-0.9	-0.0	-0.2
60代以上	4.6	1.2	-3.2	-3.5		-0.1	0.1	0.8	-0.2	-0.2	-0.2	-0.4	0.4	-0.2	0.2	0.5	0.3

※ 各年代ごとに合計 100%になるよう割合を算出し、28 年の割合から 27 年の割合を差し引いたもの。

旅行形態割合は前年と比べ、全体では「1人」が 3.9 ポイント増加の 12.9%、「友人知人」が 0.8 ポイント増加の 15.5%、「その他」が 0.7 ポイント増加の 1.6%、「団体」が 0.6 ポイント増加の 1.6%、「家族」が 6.0 ポイント減少の 68.4%となっている。

同行者数割合は前年と比べ、全体では「1人」が 3.9 ポイント増加の 12.9%、「11人以上」が 0.6 ポイント増加の 1.4%、「4~5人」が 3.7 ポイント減少の 20.6%、「2~3人」が 0.5 ポイント減少の 59.9%、「6~10人」が 0.3 ポイント減少の 5.2%となっている。

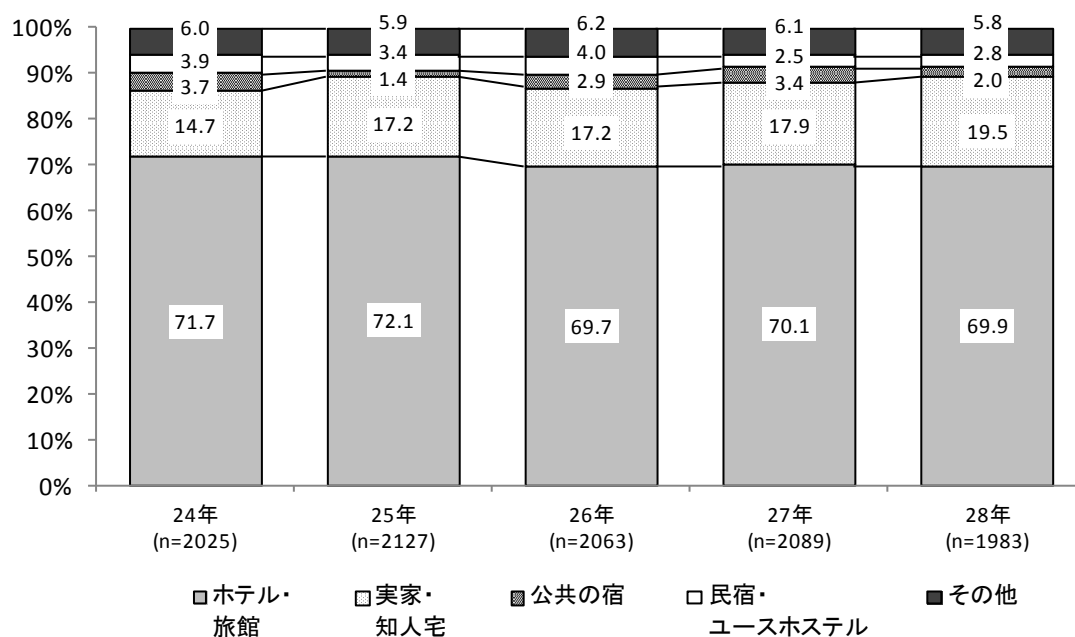
年代別に旅行形態と同行者数の関係を見ると(参考 11)、10代では「2~3人」の家族旅行が大半を占め、20代で多い組み合わせは「2~3人」の友人知人との旅行、次に「2~3人」の家族旅行となっている。30代は「2~3人」の家族旅行が多く、次に「4~5人」の家族旅行、「2~3人」の友人知人との旅行と続いている。40代は「2~3人」、「4~5人」の家族旅行が大半、50代と 60代以上は「2~3人」の家族旅行が大半を占めている。

前年との差をみると、全ての年代で「1人」の割合が増加している一方で、10代の「4~5人」の家族旅行が 14.6 ポイント、40代の「4~5人」の家族旅行が 5.0 ポイント、20代の「2~3人」の友人・知人との旅行が 4.3 ポイント減少などとなっている。

## 9 宿泊施設割合

### 9.1 年間

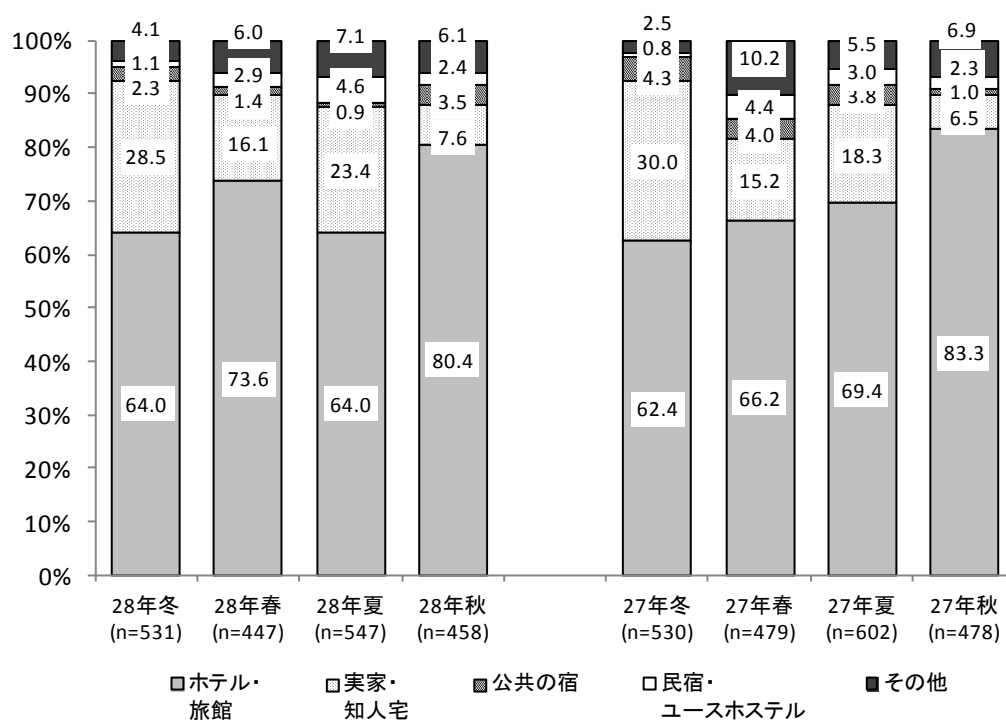
(図 9-1) 県内利用宿泊施設割合(%)



県内で利用された宿泊施設の割合は、「ホテル・旅館」が 69.9%で最も多くなった。次いで「実家・知人宅」が 19.5%、「その他」が 5.8%、「民宿・ユースホステル」が 2.8%、「公共の宿」が 2.0%となっている。

## 9.2 四季別

(図 9-2) 四季別県内利用宿泊施設割合(%)



四季別県内利用宿泊施設の割合をみると、「ホテル・旅館」の占める割合が年間を通じて最も多くなっている。

前年と比べると、冬季は「ホテル・旅館」と「その他」の割合が1.6ポイント増加、「公共の宿」が2.0ポイント減少している。

春季は「ホテル・旅館」が7.4ポイント増加、「その他」が4.2ポイント、「公共の宿」が2.6ポイント減少している。

夏季は「実家・知人宅」が5.1ポイント増加、「ホテル・旅館」が5.4ポイント、「公共の宿」が2.9ポイント減少している。

秋季は「公共の宿」が2.5ポイント、「実家・知人宅」が1.1ポイント増加、「ホテル・旅館」が2.9ポイント減少している。

### 9.3 年代別宿泊施設割合

(表 9-3) 年代別県内利用宿泊施設割合(%)

		ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
10 代	27年 (n=32)	62.5	34.4	3.1	0.0	0.0
	28年 (n=24)	75.0	16.7	0.0	0.0	8.3
20 代	27年 (n=267)	70.8	14.2	1.5	3.4	10.1
	28年 (n=272)	62.9	26.8	1.5	2.9	5.9
30 代	27年 (n=502)	68.3	20.3	2.8	2.4	6.2
	28年 (n=466)	66.5	23.4	2.2	1.9	6.0
40 代	27年 (n=580)	71.4	17.2	3.6	3.1	4.7
	28年 (n=457)	70.0	19.3	1.1	2.6	7.0
50 代	27年 (n=341)	71.8	17.6	3.8	2.4	4.4
	28年 (n=370)	75.4	15.1	1.9	3.8	3.8
60代以上	27年 (n=367)	69.0	16.9	4.6	1.9	7.6
	28年 (n=394)	73.3	14.2	3.3	3.1	6.1

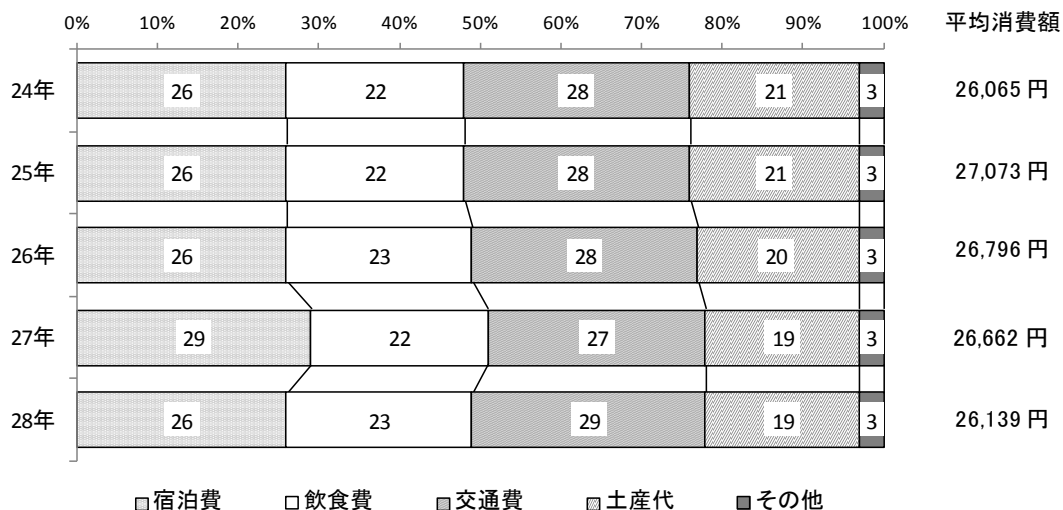
年代別利用宿泊施設割合を前年と比べると、「ホテル・旅館」の割合は、10代が12.5ポイント増加、20代が7.9ポイント減少している。「実家・知人宅」は、20代が12.6ポイント増加、10代が17.7ポイント減少している。「公共の宿」は10代が3.1ポイント、40代が2.5ポイント減少などと、20代を除く年代で減少している。「民宿・ユースホステル」は、50代が1.4ポイント増加、「その他」は10代が8.3ポイント増加している。

## 10 県内消費額

### 10.1 県内消費額費目別割合・平均消費額

#### 10.1.1 年間

(図 10-1) 県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円)



(図 10-1 参考①) 県内平均消費額費目別内訳(円)

	宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他
26年	7,047	6,253	7,383	5,210	903
27年	7,682	5,827	7,153	5,171	829
28年	6,747	5,954	7,759	4,914	765

県内消費額の年間平均金額は、前年と比べ 523 円の減少の 26,139 円となっている。費目別で見ると、「交通費」が最も多くなっている。割合を前年と比べると、交通費と飲食費が増加、宿泊費が減少、土産代とその他が横ばいとなっている。

費目別の平均消費額(図 10-1 参考①)をみると、「交通費」が 606 円、「飲食費」が 127 円増加し、「宿泊費」が 935 円、「土産代」が 257 円、「その他」が 64 円減少となっている。



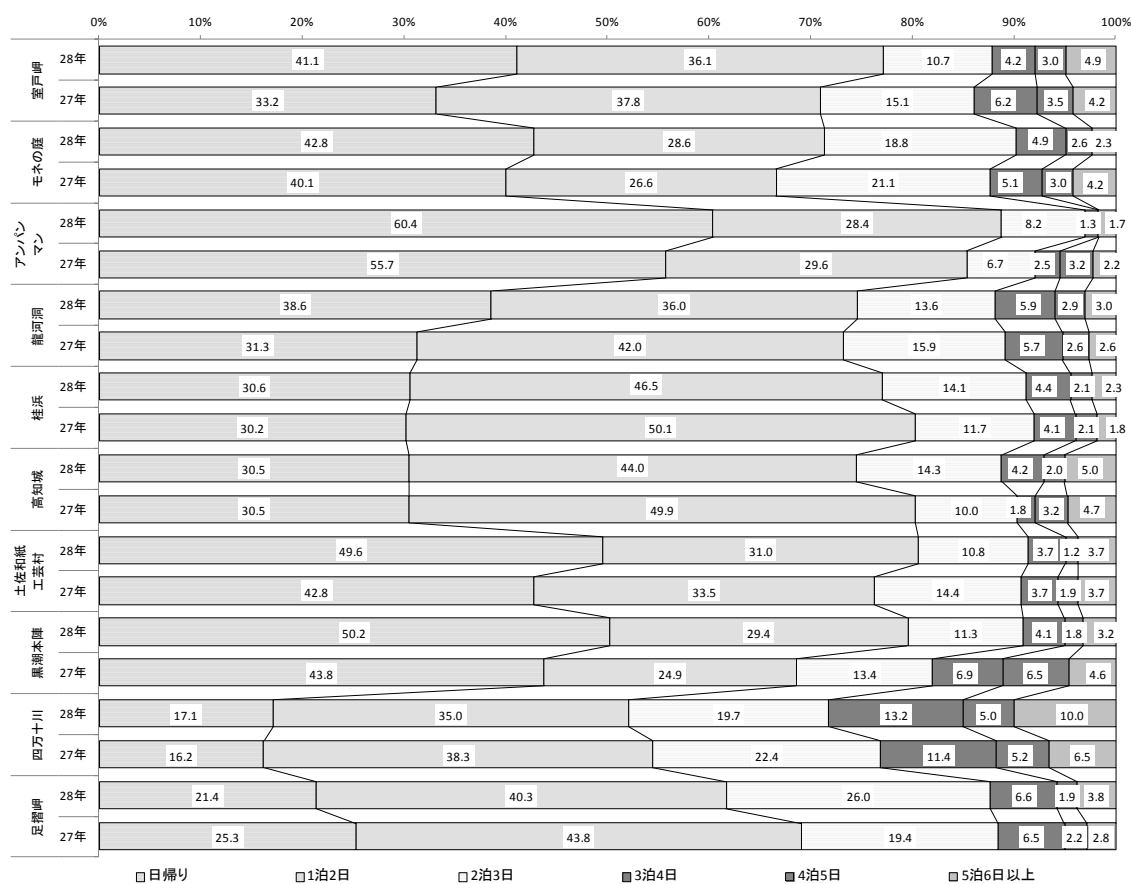
(参考) 県外観光客1人当たりの県内消費額及び経済波及効果

	H28	H27	H26	H25	H24	(H24~28平均)
県外観光客総数(人)	4,243,538	4,086,981	4,012,614	4,071,766	3,839,714	4,050,923
	客船以外					
	客船 (乗船客数) 61,433					
県外観光客一人当たり消費額(円)	客船除く 26,139	26,662	26,796	27,073	26,064	26,547
<内訳> 宿泊費	6,747	7,682	7,047	7,028	6,679	7,037
飲食費	5,954	5,827	6,253	5,923	5,858	5,963
交通費	7,759	7,153	7,383	7,608	7,315	7,444
土産	4,914	5,171	5,210	5,683	5,458	5,287
その他	765	829	903	831	754	816
県外観光客の総消費額(百万円)	客船除く総消費額 $(A) \times (B)$ 109,316	108,967	107,522	110,234	100,078	107,223
	客船乗船客等による消費額 850					
	110,166					
客船除く生産誘発効果(百万円)	169,550	165,436	163,263	167,434	152,004	144,705
客船の生産誘発効果(百万円)	1,211					
生産誘発効果(百万円)	170,761					
生産誘発倍率(倍)	1.55	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52

(参考 14) 調査地別県内平均消費額(円) [ 28 年、27 年 ]

調査地	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙 工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
27年	26,059	27,262	19,454	27,265	28,503	27,069	21,316	22,475	33,389	29,271
28年	27,868	27,765	14,916	25,510	27,819	30,125	20,067	20,250	29,539	33,381
前年との差	1,809	503	▲ 4,538	▲ 1,755	▲ 684	3,056	▲ 1,249	▲ 2,225	▲ 3,850	4,110

(参考 15) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [ 28 年、27 年 ]



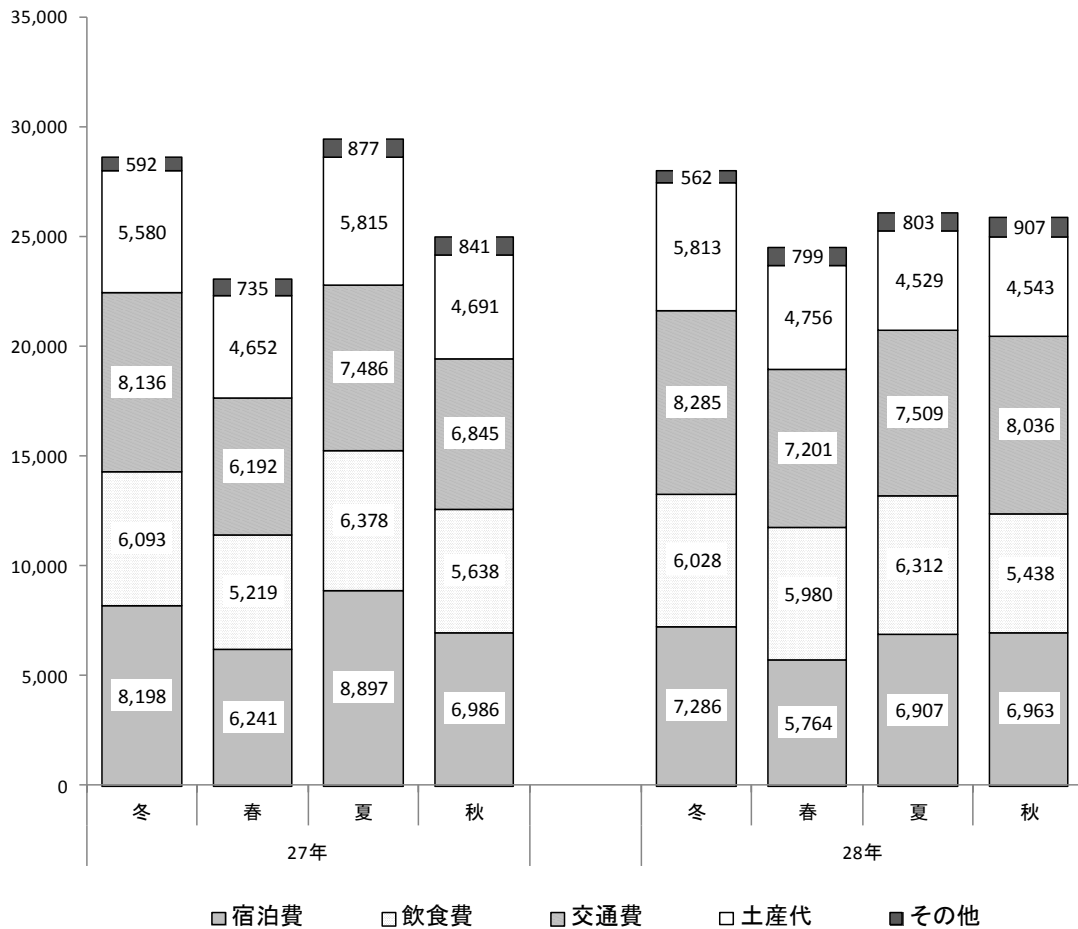
調査地別の年間平均消費額は(参考 14)、「足摺岬」が 33,381 円で最も高く、「アンパンマンミュージアム」が 14,916 円で最も低くなった。

### 10.1.2 四季別

(表 10-2) 四季別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [ 28年、27年 ]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均消費額	前年差
冬	27年	29	21	28	20	2	28,599	▲ 625円
	28年	26	22	30	20	2	27,974	
春	27年	27	23	27	20	3	23,039	1,461円
	28年	23	25	30	19	3	24,500	
夏	27年	30	22	25	20	3	29,453	▲ 3,393円
	28年	27	24	29	17	3	26,060	
秋	27年	28	23	27	19	3	25,001	886円
	28年	27	21	31	18	3	25,887	

(図 10-3) 四季別県内消費額費目別平均消費額(円) [ 28年、27年 ]



四季別の平均消費額を前年と比べると、春季は1,461円、秋季は886円増加、夏季は3,393円、冬季は625円減少している。

それぞれの費目で割合が最も多くなった時季は、「宿泊費」が夏季と秋季、「飲食費」が春季、「交通費」が秋季、「土産代」が冬季、「その他」は大きな変化はなかった。

また、それぞれの費目の消費額が最も高くなった時季は、「宿泊費」、「交通費」、「土産代」が冬季、「飲食費」が夏季、「その他」が秋季となっている。

## 10.2 年代別費目割合・平均消費額

(表 10-4) 年代別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [ 28 年、27 年 ]

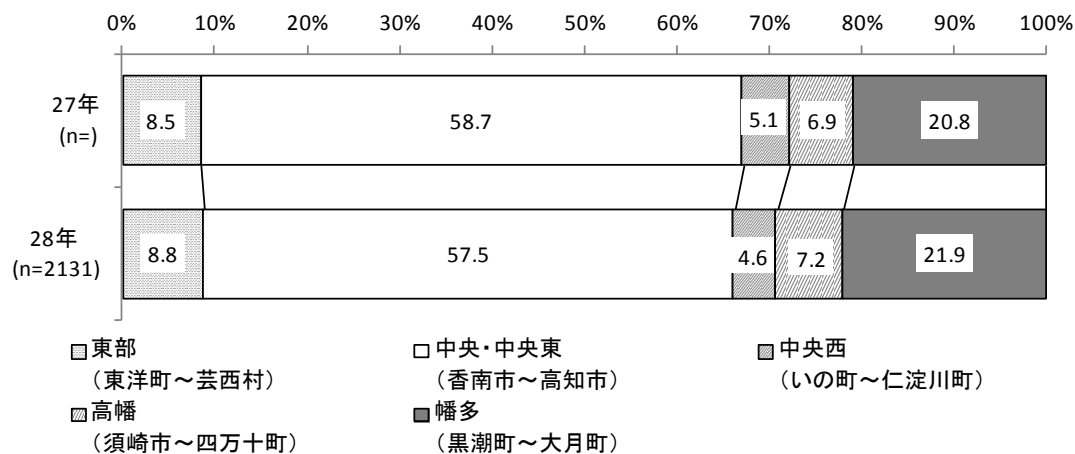
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均金額	前年差
10 代	27年	31	20	28	16	5	22,246円	1,165円
	28年	27	20	32	17	4	23,411円	
20 代	27年	26	22	32	17	3	25,001円	▲ 1,532円
	28年	22	24	34	17	3	23,468円	
30 代	27年	28	23	28	18	3	25,740円	▲ 2,474円
	28年	24	24	29	19	4	23,266円	
40 代	27年	30	22	26	19	3	27,561円	▲ 241円
	28年	26	23	29	19	3	27,319円	
50 代	27年	29	21	26	21	3	25,374円	2,523円
	28年	29	22	28	19	2	27,897円	
60代以上	27年	29	21	25	23	2	28,536円	88円
	28年	26	21	30	20	3	28,624円	

年代別の平均消費額は、前年と比べると50代が2,523円、10代が1,165円増加、30代が2,474円、20代が1,532円減少などとなっている。

費目別の割合を前年と比べると、「宿泊費」は50代を除く全ての年代が減少となっている。「飲食費」は20代から50代が増加、その他の年代で横ばいとなっている。「交通費」は全ての年代で増加となっている。「土産代」は10代と30代が増加、50代と60代以上で減少、その他の年代で横ばいとなっている。「その他」は30代と60代以上で増加、10代と50代が減少、その他の年代で横ばいとなっている。

## 11 宿泊地域割合

(図 11-1) 県内宿泊地域割合(%) [ 28 年、27 年 ]



県内での宿泊地域の割合は、「中央・中央東」が前年と比べ 1.2 ポイント減少の 57.5% で最も多くなっている。次いで「幡多」が 1.1 ポイント増加の 21.9%、「東部」が 0.3 ポイント増加の 8.8%、「高幡」が 0.3 ポイント増加の 7.2%、「中央西」が 0.5 ポイント減少の 4.7%となっている。

(表 11-2) 調査地別県内宿泊地域割合(%) [ 28 年 ]

	東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多
室戸岬	<b>32.8</b>	6.2	<b>40.5</b>	6.2	5.1	9.2
モネの庭	<b>24.8</b>	10.7	<b>58.0</b>	0.6	1.8	4.1
アンパンマン	7.2	<b>11.2</b>	<b>71.2</b>	4.0	1.6	4.8
龍河洞	9.9	<b>12.5</b>	<b>63.4</b>	1.7	5.2	7.3
桂浜	3.1	2.8	<b>73.2</b>	2.8	5.1	<b>13.0</b>
高知城	4.1	5.2	<b>78.3</b>	4.9	1.9	<b>5.6</b>
土佐和紙工芸村	3.9	3.1	<b>52.7</b>	<b>28.7</b>	5.4	6.2
黒潮本陣	4.1	2.5	<b>45.5</b>	5.8	<b>23.1</b>	19.0
四万十川	1.2	0.4	<b>24.5</b>	1.5	14.6	<b>57.8</b>
足摺岬	4.5	1.8	<b>32.0</b>	2.4	9.3	<b>50.0</b>
全体	8.8	5.1	52.4	4.6	7.2	21.9

※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

(表 11-3)調査地別県内利用宿泊施設割合(%) [ 28 年 ]

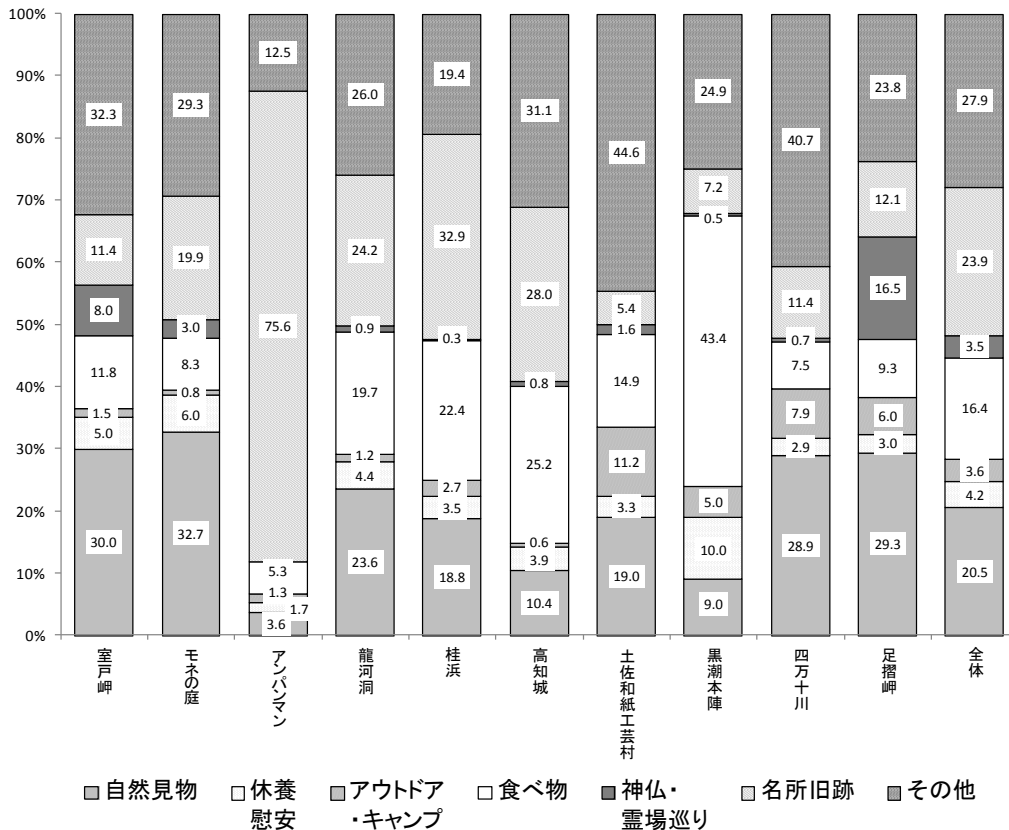
	ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ ユースホステル	その他
室戸岬	<b>72.4</b>	<b>15.3</b>	0.6	3.5	8.2
モネの庭	<b>67.9</b>	<b>23.3</b>	3.1	1.9	3.8
アンパンマン	<b>72.0</b>	<b>22.4</b>	2.4	0.0	3.2
龍河洞	<b>72.1</b>	<b>21.8</b>	0.5	0.5	5.1
桂浜	<b>83.5</b>	<b>12.4</b>	0.0	0.4	3.7
高知城	<b>78.5</b>	<b>17.6</b>	0.8	1.9	1.2
土佐和紙工芸村	<b>59.1</b>	<b>22.0</b>	7.1	4.7	7.1
黒潮本陣	<b>51.2</b>	<b>24.0</b>	7.4	5.0	12.4
四万十川	<b>54.2</b>	<b>37.0</b>	0.0	2.8	6.0
足摺岬	<b>74.1</b>	7.3	2.8	6.3	<b>9.5</b>
全体	69.9	19.5	2.0	2.8	5.8

※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

## 12 調査地別割合

### 12.1 旅行目的割合

(図 12-1) 調査地別旅行目的割合(%) [ 28 年 ]



(表 12-2) 調査地別旅行目的割合(%) [ 28 年 ]

	自然見物	休養慰安	アウトドア・キャンプ	食べ物	神仏・霊場巡り	名所旧跡	その他
室戸岬	30.0	5.0	1.5	11.8	8.0	11.4	32.3
モネの庭	32.7	6.0	0.8	8.3	3.0	19.9	29.3
アンパンマン	3.6	1.7	1.3	5.3	0.0	75.6	12.5
龍河洞	23.6	4.4	1.2	19.7	0.9	24.2	26.0
桂浜	18.8	3.5	2.7	22.4	0.3	32.9	19.4
高知城	10.4	3.9	0.6	25.2	0.8	28.0	31.1
土佐和紙工芸村	19.0	3.3	11.2	14.9	1.6	5.4	44.6
黒潮本陣	9.0	10.0	5.0	43.4	0.5	7.2	24.9
四万十川	28.9	2.9	7.9	7.5	0.7	11.4	40.7
足摺岬	29.3	3.0	6.0	9.3	16.5	12.1	23.8
全体	20.5	4.2	3.6	16.4	3.5	23.9	27.9

※背景色+太字は調査地ごとの上位2位まで。



「室戸岬」、「龍河洞」、「高知城」、「土佐和紙工芸村」、「四万十川」は“その他”が最も多くなっている。「室戸岬」、「土佐和紙工芸村」は“なんとなく（ドライブを含む）”の際に、「龍河洞」、「高知城」、「四万十川」は“帰省・知人訪問”の際に、調査地点を訪れた旅行者が比較的多く見られる。

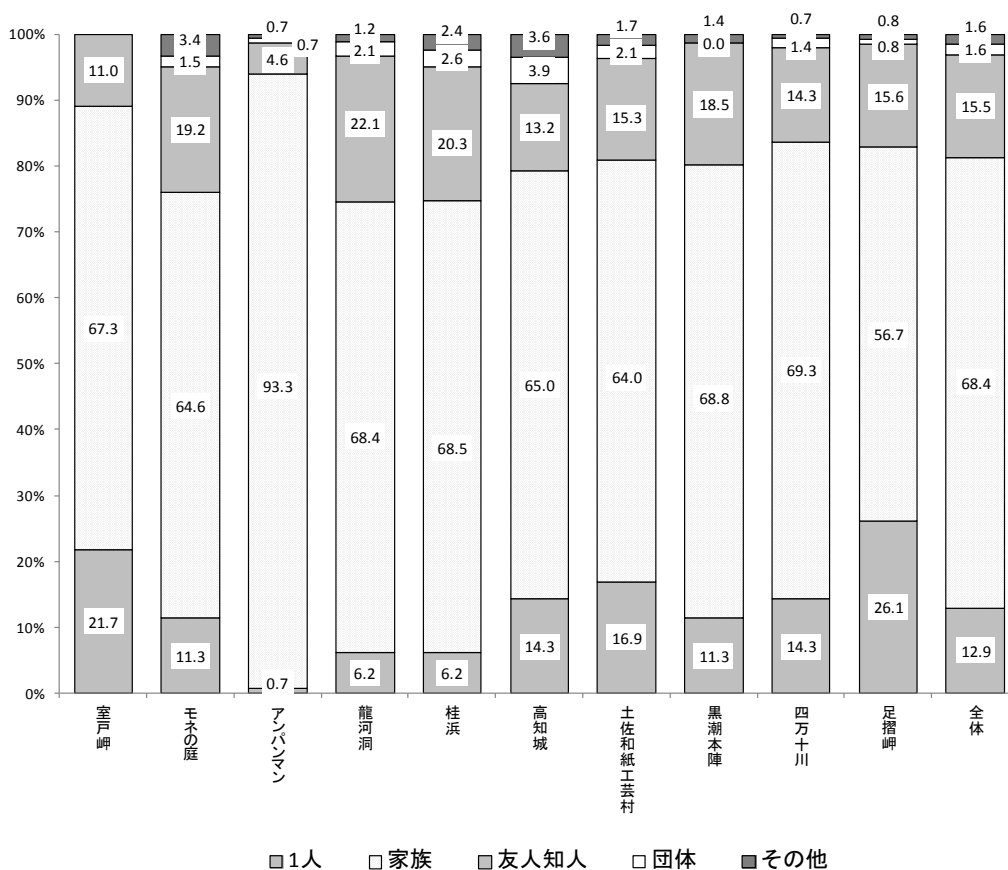
「アンパンマンミュージアム」、「桂浜」は“名所旧跡”が最も多くなっている。「桂浜」は“食べ物”が次いで多くなっており、ひろめ市場や日曜市、桂浜周辺の主要観光施設などと合わせて訪問する旅行者が多数見られる。

「黒潮本陣」は“食べ物”が4割以上を占めて最も多く、“その他”も帰省・知人訪問の際に訪れた旅行者を中心に3割以上を占めている。

「モネの庭」、「足摺岬」は“自然見物”が最も多くなっている。「モネの庭」は“名所旧跡”が次いで多くなっており、「足摺岬」は“神仏・霊場巡り”が次いで多く、金剛福寺の巡礼と合わせて訪問する旅行者が多数見られる。

## 12.2 旅行形態割合

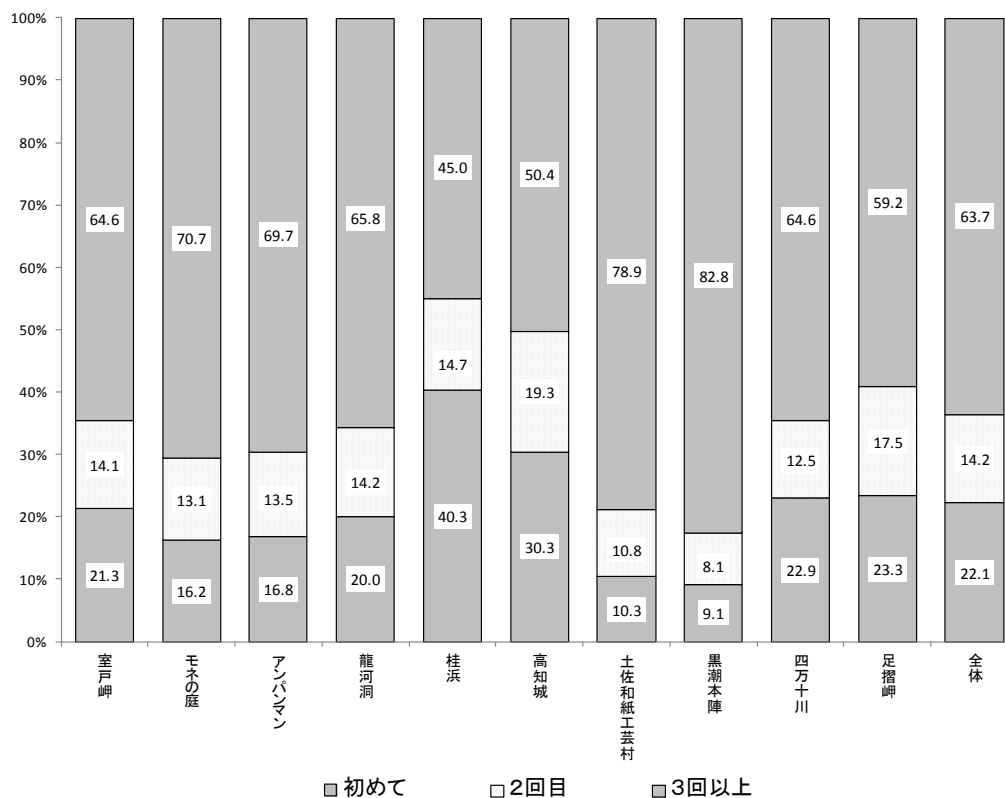
(図 12-3) 調査地別旅行形態割合(%) [ 28 年 ]



調査地別の旅行形態割合を項目別にみると、「1人」は足摺岬、室戸岬で20%を超えており、土佐和紙工芸村、四万十川、高知城、モネの庭、黒潮本陣で10%を超えている。「家族」は全ての調査地で最も多い旅行形態となっており、特にアンパンマンミュージアムが93.3%と群を抜いて多く、四万十川、黒潮本陣が続いている。「友人知人」は龍河洞が22.1%、桂浜、モネの庭が続いており、「団体」は高知城が最も多くなっている。

### 12.3 過去来県回数割合

(図 12-4) 調査地別過去来県回数割合(%) [ 28 年 ]



(参考 16) 過去来県回数割合(%) [ 28 年、過去 3 年間 ]

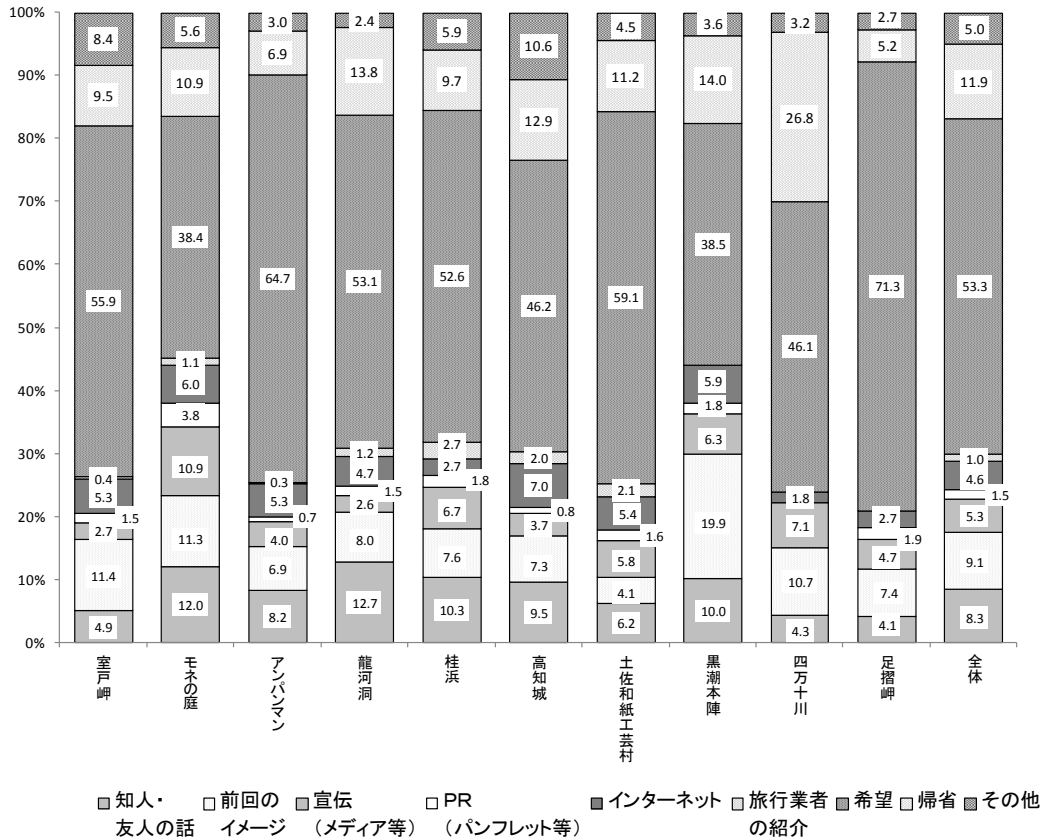
	初めて	2回目	3回以上
25 年	24.5	14.7	60.8
26 年	23.1	13.4	63.5
27 年	20.4	13.4	66.2
28 年	22.1	14.2	63.7

全体の過去来県回数は、「初めて」の旅行者が 22.1%、「2回目」が 14.2%、「3回以上」が 63.7%となっている。前年と比べると「初めて」が 1.7 ポイント増加、「2回目」が 0.8 ポイント増加、「3回目」が 2.5 ポイント減少となっている。

項目別で割合の多い調査地は、「初めて」は桂浜と高知城、「2回目」は高知城と足摺岬などが多く増えており、「3回以上」は黒潮本陣、土佐和紙工芸村などが多く増えている。

## 12.4 動機割合

(図 12-5) 調査地別動機割合(%) [ 28年 ]



(表 12-6) 調査地別動機割合(%) [ 28年 ]

	知人・友人の話	前回のイメージ	宣伝(メディア等)	PR(パンフレット等)	インターネット	旅行業者の紹介	希望	帰省	その他
室戸岬	4.9	11.4	2.7	1.5	5.3	0.4	55.9	9.5	8.4
モネの庭	12.0	11.3	10.9	3.8	6.0	1.1	38.4	10.9	5.6
アンパンマン	8.2	6.9	4.0	0.7	5.3	0.3	64.7	6.9	3.0
龍河洞	12.7	8.0	2.6	1.5	4.7	1.2	53.1	13.8	2.4
桂浜	10.3	7.6	6.7	1.8	2.7	2.7	52.6	9.7	5.9
高知城	9.5	7.3	3.7	0.8	7.0	2.0	46.2	12.9	10.6
土佐和紙工芸村	6.2	4.1	5.8	1.6	5.4	2.1	59.1	11.2	4.5
黒潮本陣	10.0	19.9	6.3	1.8	5.9	0.0	38.5	14.0	3.6
四万十川	4.3	10.7	7.1	0.0	1.8	0.0	46.1	26.8	3.2
足摺岬	4.1	7.4	4.7	1.9	2.7	0.0	71.3	5.2	2.7
全体	8.3	9.1	5.3	1.5	4.6	1.0	53.3	11.9	5.0

※ 背景色+太字は動機ごとの上位2位まで。

全体の動機割合は、「本人・家族の希望」が53.3%と最も多くおよそ半数を占めている。次いで「帰省」が11.9%、「前回のイメージ」が9.1%、「知人・友人の話」が8.3%となっている。

項目別で割合が多かった調査地をみると、「知人・友人の話」は龍河洞やモネの庭、「前回のイメージ」は黒潮本陣や室戸岬、「宣伝（メディア等）」はモネの庭や四万十川、「PR（パンフレット等）」はモネの庭や足摺岬、「インターネット」は高知城やモネの庭、「旅行者の紹介」は桂浜や土佐和紙工芸村、「本人・家族の希望」は足摺岬やアンパンマンミュージアム、「帰省」は四万十川や黒潮本陣となっている。

## 13 総括

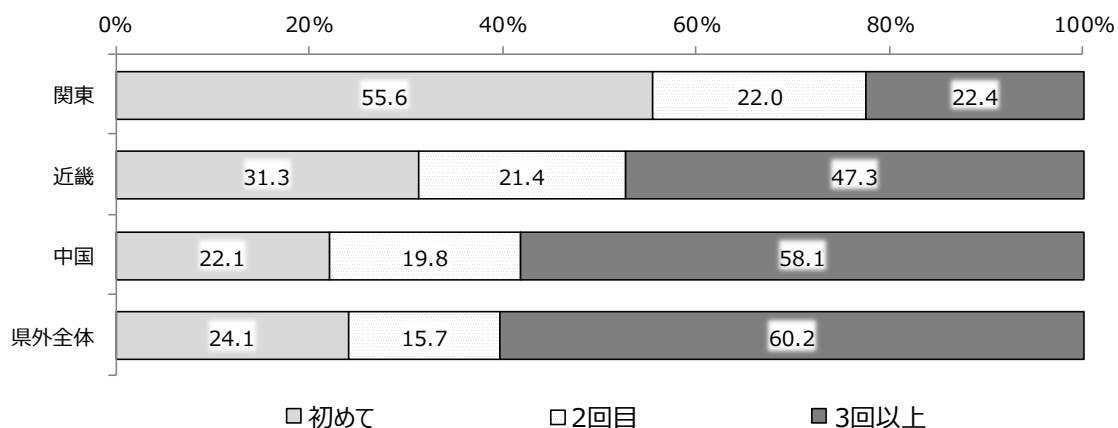
この総括では、今回調査で得られたデータのうち、際立った結果が表れたものについて、さらに詳細な分析を行った結果に所見を付して報告する。

### 1. 関東からの旅行者割合の増加

平成 28 年度の発地ブロック別入込割合（P20：表 4-1）を見ると、関東ブロックの割合が 14.3%と前年と比べ 2.2 ポイントも増加している。これは過去 4 年間でも最も高いという結果となっている。

関東からの旅行者のうち、観光を主な旅行の目的とする旅行者についてさらに分析をすると、過去来県回数割合（参考 17）は、「初めて」の割合が 55.6%、「2 回目」が 22.0%、「3 回以上」が 22.4%と、初めて高知県を訪れた割合が半数を超えるという結果となっている。

（参考 17）過去来県回数割合（%） [ 28 年 主な発地ブロック・観光目的 ]



さらに、過去来県回数の各項目について、来県が初めてという関東の旅行者から回答を得た、旅行の主たる観光の目的（参考 18）を見てみると、「名所旧跡・観光施設などの見学・行楽」が 36.4%で最も多く、次いで「自然見物・町歩き」が 33.1%、「食べ物（味覚・酒）」が 13.0%と続いている。この結果を県外全体と比較すると、「食べ物（味覚・酒）」の割合が、5.8 ポイントも少ないことが目立っている。

(参考 18) 旅行の主たる観光の目的割合 (%) [ 28 年 主な発地ブロック ]

	自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	観光 その他
関東	33.1	3.9	4.5	3.9	1.3	13.0	1.3	0.0	36.4	1.9	0.6
近畿	31.1	3.1	2.6	3.6	0.5	21.4	3.6	0.0	30.6	3.6	0.0
中国	26.7	3.5	2.3	2.3	0.0	23.3	0.0	1.2	37.2	2.3	1.2
四国	19.5	4.9	4.9	0.0	0.0	31.7	2.4	0.0	31.7	4.9	0.0
県外全体	30.7	3.3	2.8	2.6	1.3	18.8	2.0	0.2	32.8	4.5	1.0

また、「初めて」と「3回以上」の場合で、観光の目的割合の変化(参考 19)を見ると、関東からの旅行者の場合は「名所旧跡・観光施設などの見学・行楽」と「自然見物・町歩き」が10ポイント以上も減少し、「祭り・イベント」が8.4ポイント、「食べ物(味覚・酒)」が8.0ポイント増加している。

(参考 19) 旅行の主たる観光の目的割合 (%) [ 28 年 主な発地ブロック・3回以上ー初めて ]

	自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	観光 その他
関東	-10.5	2.6	8.4	-3.9	0.3	8.0	5.2	0.0	-17.0	4.6	2.6
近畿	-8.1	0.3	0.1	5.9	2.2	-2.5	4.8	0.0	-5.9	1.8	1.4
中国	-4.6	5.3	0.8	6.1	0.9	-2.9	4.0	1.0	-12.4	3.0	-1.2
四国	-0.3	0.4	-0.5	3.1	0.2	-11.8	2.2	4.9	-4.9	5.6	1.1
県外全体	-9.6	2.2	1.4	2.5	-0.3	0.9	3.3	3.0	-7.0	3.6	0.1

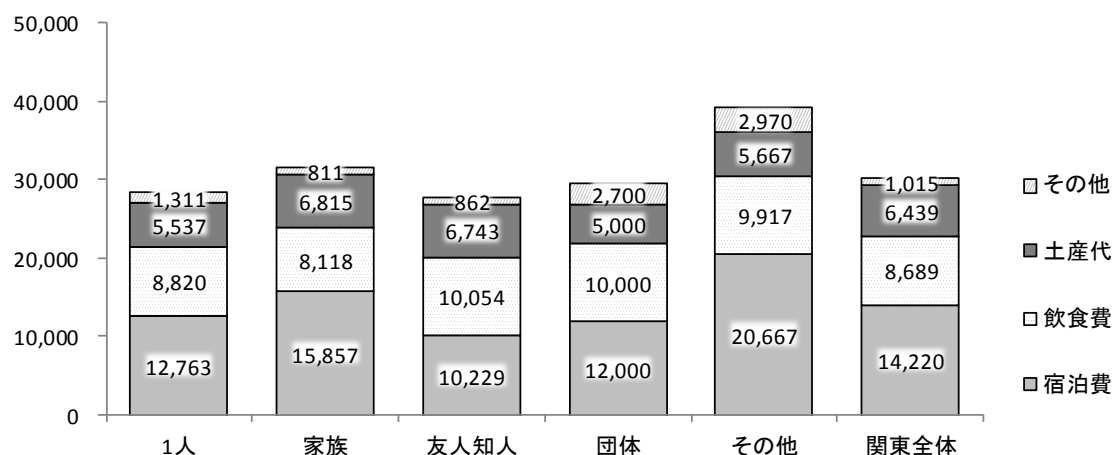
次に、旅行形態割合(参考 20)を見ると、県外全体や他の発地ブロックと比較しても、関東の旅行者は突出して「1人」の割合が多く、「家族」が少なくなっている。

(参考 20) 旅行形態割合 (%) [ 28 年 主な発地ブロック・観光目的 ]

	1人	家族	友人知人	団体	その他
関東	23.1	53.4	20.2	1.1	2.2
近畿	12.5	66.3	17.7	1.9	1.6
中国	6.7	72.5	15.4	3.1	2.3
四国	8.0	73.2	16.1	1.4	1.2
県外全体	11.5	67.9	17.3	1.7	1.6

この旅行形態と県内消費額の関連を見ると（参考 21）、関東の旅行者全体と比べ、「1人」の場合は、飲食費やその他（入場料等）が高く、宿泊費や土産代が低いという傾向が見られる。※同行者人数による影響を受けやすい交通費を除く。

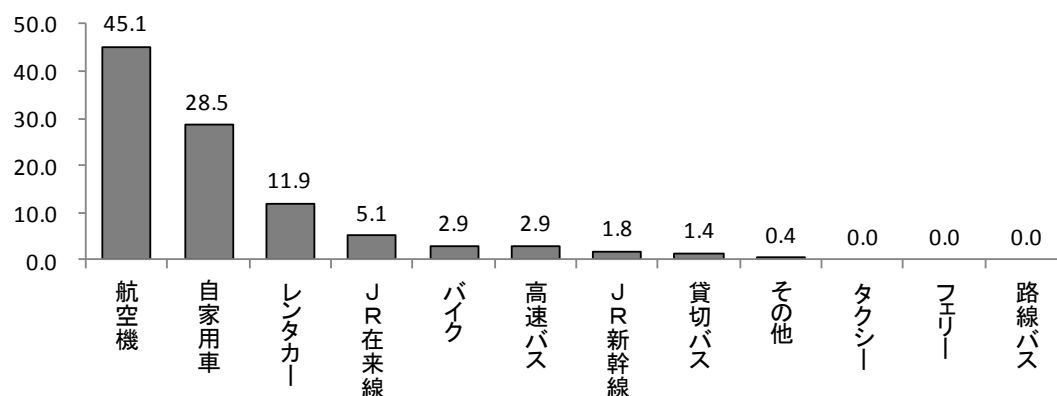
（参考 21）旅行形態別県内平均消費額(円) [ 28 年 関東ブロック・観光目的 ]



最後に、高知県に来るまでに利用した交通機関（参考 22）を見ると、「航空機」が 45.1% とおよそ半数を占めて最も多く、次いで「自家用車」が 28.5%、「レンタカー」が 11.9% と続いている。なお、レンタカーで来県した旅行者のほとんどは、四国の他三県とあわせて周遊するケースが多い傾向があることを付しておく。

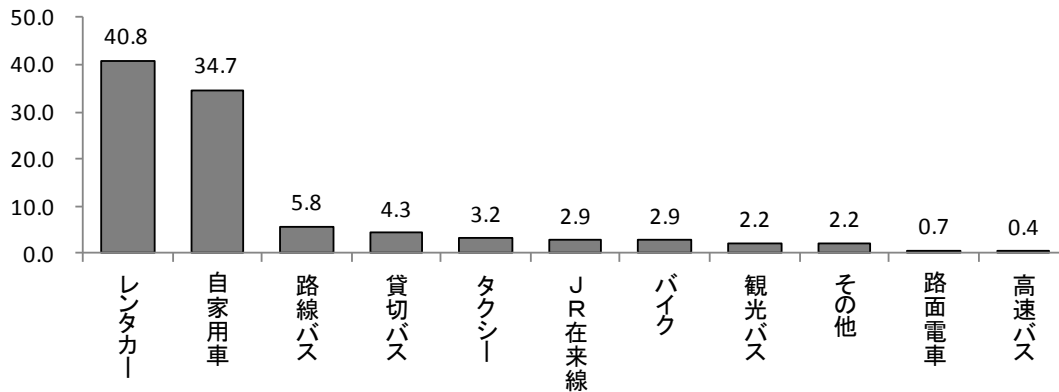
また、県内で主に利用した交通機関（参考 23）も、「レンタカー」の割合が 40.8% と最も多く、次いで「自家用車」が 34.7%、「路線バス」が 5.8% と続いている。

（参考 22）入込利用交通機関(%) [ 28 年 関東ブロック・観光目的 ]





(参考 23) 県内利用交通機関(%) [ 28 年 関東ブロック・観光目的 ]



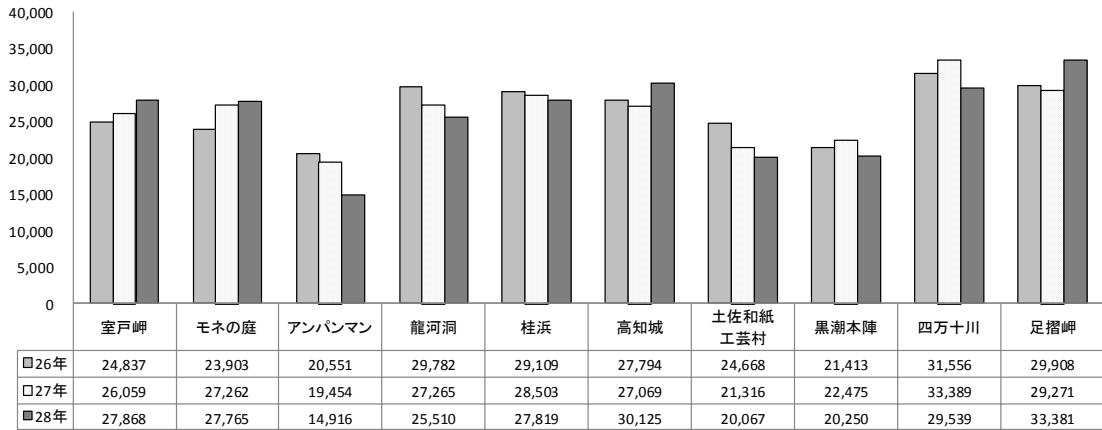
以上のような分析結果から、坂本龍馬の新たな史料が発見され、新たにオープンした高知県立高知城歴史博物館において公開される等という話題性からも、「志国高知 幕末維新博」をきっかけに初来県する関東からの旅行者が増加する可能性は大いにあるといえるだろう。

そこで、再び高知県を訪れるリピーターになってもらうためには、先述した「祭り・イベント」や「食(味覚・酒)」に関する魅力的な情報提供を行うことが有効だと考えられる。その情報提供を行う場所として、高知龍馬空港周辺、レンタカー会社周辺、主要道路沿いのコンビニエンスストア等、主に利用されている交通機関を考慮に入れて行うことが重要だと考えられる。

## 2. 調査地別の県内消費額に見られる傾向

調査地別県内平均消費額 (P38 : 参考 14) を見ると、「アンパンマンミュージアム」「龍河洞」「土佐和紙工芸村」「黒潮本陣」の4地点において、全体平均の26,139円を下回っている。各調査地点の県内消費額とその推移(参考 24・25)を見ると、減少傾向が顕著な調査地点は、「アンパンマンミュージアム」(26年と28年の対比で27.4ポイント、5,635円減少)、「龍河洞」(同14.3ポイント、4,272円減少)、「土佐和紙工芸村」(同18.7ポイント、4,601円減少)の3地点となっている。

(参考 24) 調査地別県内消費額(円) [ 26 年、27 年、28 年 ]



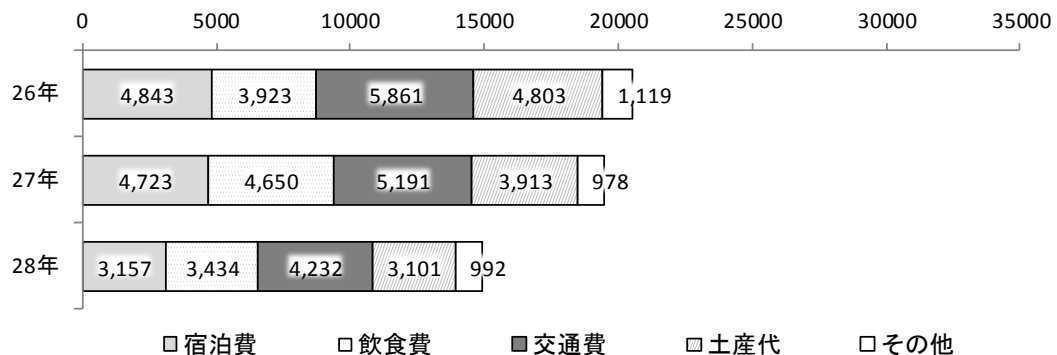
(参考 25) 調査地別県内消費額推移(上段: %、下段: 円)

	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙 工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
26年/28年対比(%)	12.2	16.2	-27.4	-14.3	-4.4	8.4	-18.7	-5.4	-6.4	11.6
(円)	3,031	3,862	-5,635	-4,272	-1,290	2,331	-4,601	-1,163	-2,017	3,473

「アンパンマンミュージアム」は、日帰り客と宿泊客の割合（P19：参考 2）や発地ブロック別入込割合（P21：参考 4）を見ると、四国・中国・近畿の近隣 3 ブロックからの旅行者が多く、半数以上が日帰り旅行となっていることが分かる。

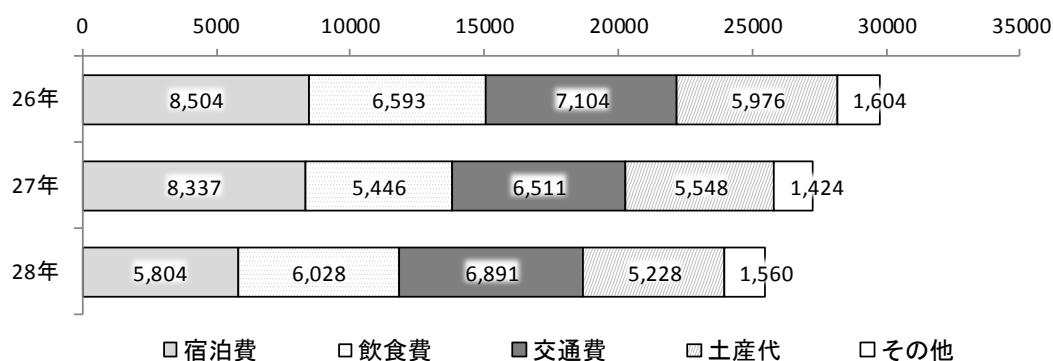
さらに県内消費額推移（参考 26）を費目毎に見ると、宿泊費、交通費、土産代は 2 年続けて減少しており、飲食費は 27 年度に増加したものの今回調査で大きく減少している。

(参考 26) 県内消費額推移(円) [ 26 年、27 年、28 年 ・ 費目毎 ・ アンパンマンミュージアム ]



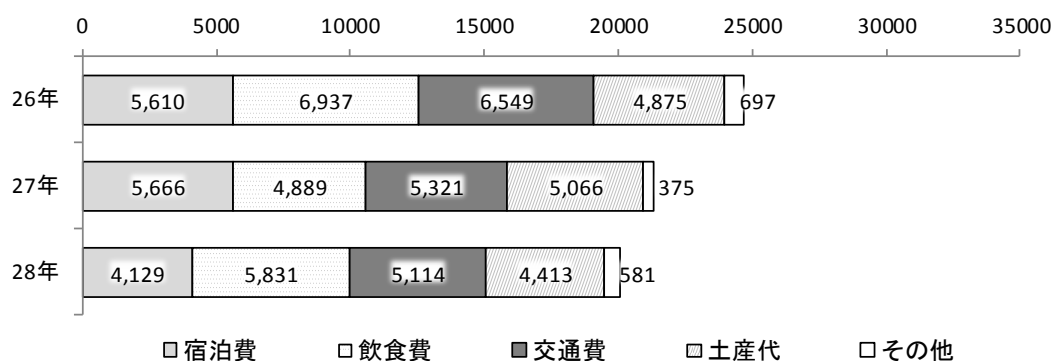
「龍河洞」は、消費額自体の水準が低いわけではないものの、3年間の推移では減少傾向が止まらず、早急に対策を講じる必要があると思われる。同様に県内消費額推移（参考27）を費目毎に見ると、宿泊費と土産代が2年続けて減少しており、今回調査に限れば宿泊費が大幅に減少している。

（参考27）県内消費額推移(円) [ 26年、27年、28年・費目毎・龍河洞 ]



「土佐和紙工芸村」も、アンパンマンミュージアムと同様に、近隣3ブロックからの旅行者が多く、半数近くが日帰り旅行となっている。県内消費額推移（参考28）を費目毎に見ると、交通費が2年続けて減少しており、今回調査に限れば宿泊費が大幅に減少している。

（参考28）県内消費額推移(円) [ 26年、27年、28年・費目毎・土佐和紙工芸村 ]



以上のように、高知市内の周辺にある調査地点では、県内消費額の減少傾向が見られる反面、高知市内、県東部と県西部にある調査地点においては、増加傾向、または高水準で安定しているという分析結果となっている。

旅行者から寄せられた声の中に、「初めて高知に来たが、どこに何があって、どこが楽しいのか全く分からない。とりあえずひろめ市場に行こうかという感じ。」というご意見があるように、知名度が高く、アクセスも便利な高知市内のスポットを目的地にする旅行者が多いと推察される。これは、初めて来県した旅行者は「桂浜」と「高知城」に多いという、調査地別過去来県回数割合（P47：図 12-4）の結果からも、その可能性は高いと言えるだろう。

したがって、減少傾向が見られる調査地点が含まれる物部川エリア、仁淀川エリアへ高知市からの周遊を促す取り組みや、「志国高知 幕末維新博」の地域会場を中心とした、観光クラスターの取り組みに期待を寄せたいと思う。

## 高知県観光客アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、高知県内にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____ )	海外の場合 (国名: _____ )
<div style="border-left: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-left: 20px;"></div> 高知県内の場合 → (市町村名 _____ )	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性      2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満   2. 10歳代   3. 20歳代   4. 30歳代   5. 40歳代 6. 50歳代   7. 60歳代   8. 70歳代   9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどの地域の、どのような施設に何泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り    2. 宿泊	宿泊した施設の数 ↓ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 → 県内宿泊施設数 _____ 施設
-----------------	--

### ＜県内宿泊施設＞

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 実家や知人・親戚宅 ( ) 泊                | 2. 旅館 ( ) 泊       |
| 3. ホテル ( ) 泊                      | 4. ペンション・民宿 ( ) 泊 |
| 5. 保養所・研修所 ( ) 泊                  | 6. キャンプ場 ( ) 泊    |
| 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 ( ) 泊 |                   |
| 8. 別荘・リゾートマンション ( ) 泊             | 9. 会員制の宿泊施設 ( ) 泊 |
| 10. ユースホステル・ライダーズイン ( ) 泊         | 11. 公共の宿 ( ) 泊    |
| 12. その他 ( ) 泊                     |                   |

### ＜県内宿泊場所＞

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 東部地域 (東洋町～芸西村) ( ) 泊  | 2. 中央東地域 (香南市～南国市) ( ) 泊  |
| 3. 中央地域 (高知市) ( ) 泊      | 4. 中央西地域 (いの町～仁淀川町) ( ) 泊 |
| 5. 高幡地域 (須崎市～四万十町) ( ) 泊 | 6. 幡多地域 (黒潮町～大月町) ( ) 泊   |

Q4. 今回のご旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス	「2. 観光」を選んだ場合、今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。															
2. 観光	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">01 自然見物・町歩き</td> <td style="width: 33%;">02 休養・慰安</td> <td style="width: 33%;">03 祭り・イベント</td> </tr> <tr> <td>04 登山・アウトドア・キャンプ</td> <td>05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>06 食べ物 (味覚・酒)</td> <td>07 神仏・霊場巡り</td> <td>08 買い物</td> </tr> <tr> <td>09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽</td> <td colspan="2">10 なんとなく (ドライブ等含む)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">11 その他 ( )</td> </tr> </table>	01 自然見物・町歩き	02 休養・慰安	03 祭り・イベント	04 登山・アウトドア・キャンプ	05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)		06 食べ物 (味覚・酒)	07 神仏・霊場巡り	08 買い物	09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	10 なんとなく (ドライブ等含む)		11 その他 ( )		
01 自然見物・町歩き	02 休養・慰安	03 祭り・イベント														
04 登山・アウトドア・キャンプ	05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)															
06 食べ物 (味覚・酒)	07 神仏・霊場巡り	08 買い物														
09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	10 なんとなく (ドライブ等含む)															
11 その他 ( )																
3. 帰省・知人訪問																
4. (1～3のどれでもない) その他																

Q5. 今回のご旅行のきっかけを教えてください。

1. 知人・友人の話	2. 前回のイメージ	3. 宣伝 (TV・ラジオ・雑誌等)
4. PR (パンフレット・キャンペーン等)	5. インターネット (携帯電話含む)	
6. 旅行業者の紹介・ツアー参加	7. 来たかった・家族の希望	
8. 帰省	9. その他	

Q6. 今回のご旅行の企画・手配について教えてください。

1. 自分で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分で手配した
2. 旅行プランを決めて、宿泊や高知への往復には旅行代理店のフリープランを使っている
3. 旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている

Q7. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

( ) 人  
 2人以上の場合  
 → 1. 家族      2. 友人      3. 職場・学校等の団体旅行      4. その他

Q8. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない
2. 知っている → 1回目の人数 ( ) 人、2回目の人数 ( ) 人  
 3回目の人数 ( ) 人、4回目以上の人数 ( ) 人

Q9. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたは、高知県の訪問が何回目ですか。

1. はじめて
2. 2回目
3. 3回目以上 ( ) 回目

Q10. (県外にお住まいの方のみお答えください)

ご一緒のみなさん全員の、高知県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない
2. 知っている → 1回目の人数 ( ) 人、2回目の人数 ( ) 人  
 3回目の人数 ( ) 人、4回目以上の人数 ( ) 人

Q11. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。

また、この県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

高知県までの主な交通機関 [ ]      高知県内での主な交通機関 [ ]

ここに来る前にいた場所      現在地

居住地 → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → 調査地点

交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]

現在地      これから行く予定の場所

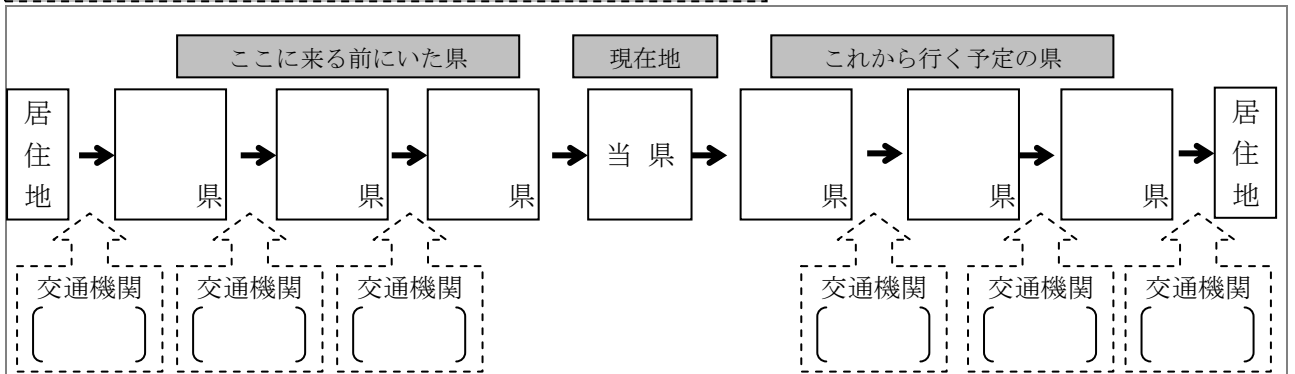
調査地点 → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → [ ] → 居住地

交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]      交通機関 [ ]

【表】交通機関

- ① J R新幹線      ② J R在来線      ③ 私鉄・地下鉄      ④ モノレール      ⑤ -1 貸切バス
- ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む)      ⑥ 高速バス      ⑦ 市内バス・路線バス
- ⑧ 路面電車      ⑨ タクシー・ハイヤー      ⑩ レンタカー      ⑪ 自家用車、社用・公用車
- ⑫ 飛行機      ⑬ フェリー      ⑭ バイク      ⑮ その他

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください



【表】交通機関

- ① J R 新幹線    ② J R 在来線    ③ 私鉄・地下鉄    ④ モノレール    ⑤ - 1 貸切バス
- ⑤ - 2 観光バス (MY遊バス等含む)    ⑥ 高速バス    ⑦ 市内バス・路線バス
- ⑧ 路面電車    ⑨ タクシー・ハイヤー    ⑩ レンタカー    ⑪ 自家用車、社用・公用車
- ⑫ 飛行機    ⑬ フェリー    ⑭ バイク    ⑮ その他

Q12. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※  ← 表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用
①交通費	(県内分) 円		(県外分) 円
②宿泊費	(県内分) 円		
③土産代	(県内分) 円		
④飲食費	(県内分) 円		
⑤入場料	(県内分) 円		
⑥その他	(県内分) 円		
⑦パック料金			
		↑	<input type="checkbox"/> 県内分のみ    もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む

Q13. ご意見・ご感想（他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください）

- ※ 冬期は特に、この季節に高知へ来られた理由、高知の魅力など（冬季対策の参考意見として）をお聞かせください

※調査票コード

1. 観\_共通\_日

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

- ・高知県では、観光博覧会「志国高知幕末維新博」に取り組んでいます。
- ・また、約700施設で特典が受けられる「龍馬パスポート」を発行しています。

Q1 高知県観光博覧会「志国高知幕末維新博」をご存知ですか。

- 1 出発前から知っていた。 2 旅行中に知った。 3 知らなかった。

Q2 「龍馬パスポート」をご存知ですか。

- 1 出発前から知っていた。 2 旅行中に知った 3 知らなかった。

Q3 「龍馬パスポート」をお持ちですか。(Q2で1または2と答えた方のみ。)

- 1 持っている。(パスポート種別：1 青 2 赤 3 ブロンズ 4 シルバー 5 ゴールド)  
2 現在申請書にスタンプを集めている。  
3 持っていない。

Q4 約2,000件の観光情報をスマホアプリに集約した「公式！こうち旅アプリ」をご存知ですか。

- 1 出発前から知っていた 2 旅行中に知った 3 知らなかった

- ・高知県では、豊かな自然を生かしたスポーツツーリズムを推進しており、特にサイクリング観光は、コースの設定等を行うなど、取り組みを進めています。

Q5 今回、主にサイクリングを目的に高知県に来ましたか。

- 1 はい 2 いいえ

Q6 今回の旅行でレンタサイクルを利用しますか(しましたか)。

- 1 はい 2 いいえ

- ・高知県では、観光客の満足度向上のため、「おもてなしトイレ」や「おもてなしタクシー」の取組を進めています。

Q7 「おもてなしトイレ」をご存知ですか。

- 1 知っている 2 知らなかった

Q8 「おもてなしトイレ」を利用したことがある方にお聞きします。

「おもてなしトイレ」の快適性について

- 1 大変良い 2 良い 3 ふつう 4 悪い 5 大変悪い

【理由】

Q9 「おもてなしタクシー」をご存知ですか。

- 1 知っている 2 知らなかった

Q10 「おもてなしタクシー」を利用したことがある方にお聞きします。

「おもてなしタクシー」の接客マナーについて

- 1 大変良い 2 良い 3 ふつう 4 悪い 5 大変悪い

【理由】

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆